

消 防 年 報

平成17年 (2005) 版



島 根 県

出雲市消防本部

平成18年 (2006) 発刊

●表紙説明

【出雲大社の消防演習風景】（撮影 平成18年1月26日）

1月26日は「文化財防火デー」にあたり、出雲大社では消防機関と合同で消防演習を実施されました。

「文化財防火デー」は昭和24年1月26日に法隆寺金堂壁画が焼損したことから、同25年に「文化財保護法」が制定された後、同30年1月26日に第1回目の文化財防火デーが定められ、今年で52回目を迎えます。更に、出雲大社では昭和28年5月に拝殿・庁舎(ちょうのや)を全焼するという大惨事に見舞われたことから、毎年5月にも同様の消防演習を実施されています。



名称 消防年報（平成17年版）

発行 出雲市消防本部

〒693-0004

出雲市渡橋町253番地1

☎0853(21)2119(代)

編集 出雲市消防本部 指令課

発行 平成18年(2006)8月

印刷 株式会社 報光社

は し が き

この年報は、当消防本部の消防現勢及び消防行政に関する諸般の事項を集録し、その実態を広く紹介するとともに、将来の消防行政の推進に資するため編集したものです。

なお、内容については、主に平成18年4月1日現在をもって収録してあり、一部これによらないものについては、当該各表にそれぞれの年月日を記載しています。

平成18年(2006)8月

出雲市消防本部

●出雲市の概要

位置と地勢、位置図、管内図、面積・人口及び世帯数	1
消防本部・署の位置及び庁舎等の現況(構造・規模)	2

●沿 革

出雲市外4町広域消防組合の沿革	3
平田市消防本部の沿革	8
大社町消防本部の沿革	10
出雲市消防本部の沿革	12

総 務 編

●出雲市消防本部・消防署の組織及び機構

消防本部・消防署の組織及び機構	15
消防隊の編成	17

●平成17年(2005)中の主な行事

●予 算

平成18年度(2006)出雲市消防本部当初予算	19
-------------------------	----

●職員の現況

職員の配置	21
職員の年齢・勤務年数	22

●消 防 力

消防職員の資格免許取得状況	23
消防相互応援協定状況	24

●広 報

広報実施状況	24
--------	----

●出雲消防音楽隊

音楽隊の概況	25
--------	----

予 防 編

防火クラブの現況	27
防火対象物数	29
一般予防関係事務処理件数	30
中高層建物の状況	31
危険物製造所等施設数	32
貯蔵取扱数量別危険物施設数	33
危険物関係事務処理件数	34
火薬類・高圧ガス・液化石油ガス関係事務処理件数	35

警 防 編

●火災統計

火災の概要	37
消防本部・本署・各署の出場状況	39
建物用途別損害状況	40
出火原因別火災件数・損害額	40
曜日別・時間別火災発生状況	40

●救急統計

救急の概要	41
傷病者年齢区分別搬送人員	43
傷病程度別搬送人員	43
救急隊員の行った応急処置件数	44
救急隊員生涯教育実施状況	45
応急手当普及啓発活動状況	45

●救助統計

救助の概要	46
-------	----

●消防機械器具の現況

消防車両の配備	47
特殊器具一覧表	48
消防車両の装備【消防本部・出雲消防署本署】	49

【出雲消防署西部分署】	50
【出雲消防署南部分署】	50
【出雲消防署斐川出張所】	50
【平田消防署】	51
【大社消防署】	51
●管内消防水利の状況	
消防水利施設数	52
●消防通信	
消防通信施設状況【出雲市消防本部・出雲消防署】	53
【平田消防署】	54
【大社消防署】	54
火災報知専用電話(119番)着信状況	55
携帯電話(119番)着信状況	55
消防テレホンガイド利用状況	56
119番受信時の口頭指導実施状況	56
●気象状況	
気温、湿度	57
降雨量、風向風速、気象警報等発令状況	58

消 防 団

●出雲市消防団連合会の組織	
組織図	61
階級別人員数、報酬(年額)、諸手当	63
団員の年齢、在職年数、消防ポンプ・消防用車両の現況	64
団員の職業別	65
●消防事務受託先（斐川町）	
組織図	66
階級別人員数、報酬(年額)、諸手当	66
団員の年齢、在職年数、消防ポンプ・消防用車両の現況、職業別	67

水 難 救 済 会

● 島根県水難救済会救難所の現況

【平田救難所】	69
【大社救難所】	71
【多伎救難所】	74

出雲市の概要

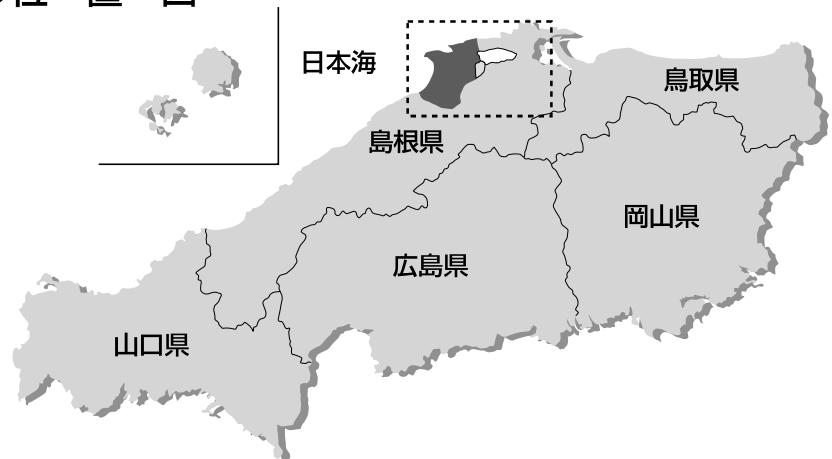
●位置と地勢

「出雲市」は、島根県東部に位置し、北部は国引き神話で知られる島根半島、中央部は出雲平野、南部は中国山地で構成されています。

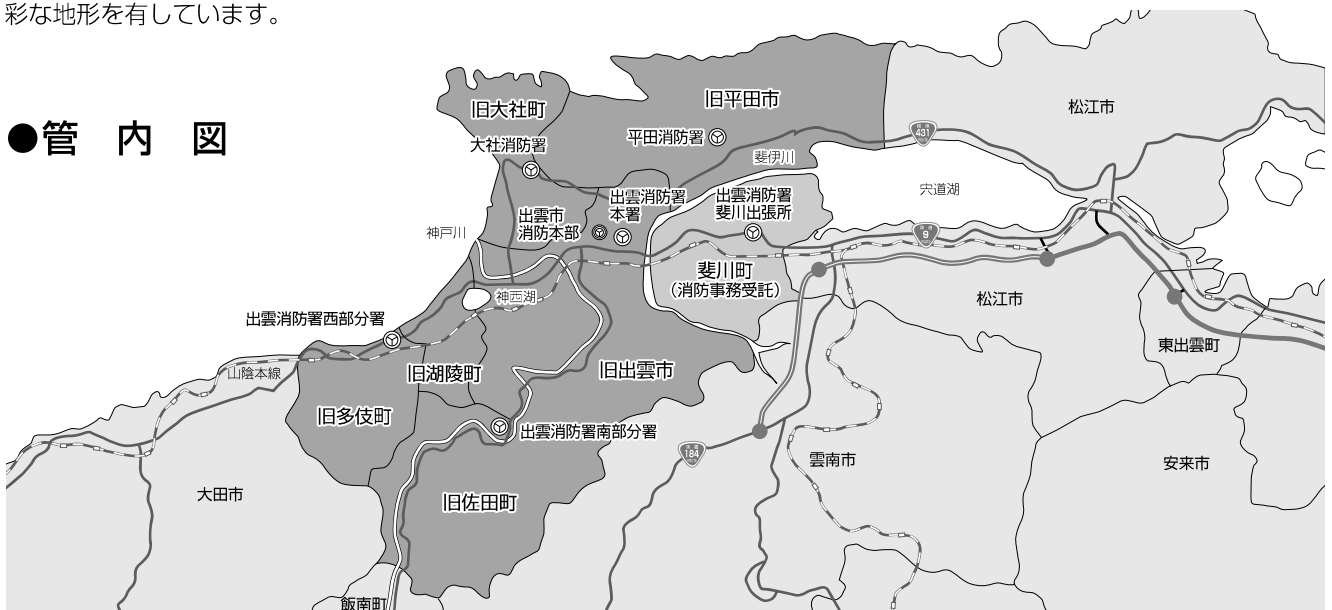
出雲平野は、中国山地に源を発する斐伊川と神戸川の二大河川により形成された沖積平野で、斐伊川は平野の中央部を東進して宍道湖に注ぎ、神戸川は西進して日本海に注いでいます。

日本海に面する島根半島の北及び西岸はリアス式海岸が展開しており、海、山、平野、川、湖と多彩な地形を有しています。

●位置図



●管内図



●面積・人口及び世帯数

区分	面積(km ²)	全人口(人)	男(人)	女(人)	世帯数
出雲市	543.4	148,624	71,365	77,259	48,672
斐川町	80.6	27,909	13,588	14,321	7,881
合計	624	176,533	84,953	91,580	56,553

●消防本部・署の位置及び庁舎等の現況（構造・規模）

所 属		区 分	所 在 地	庁 舎 の 構 造	摘 要		
出雲消防署	消 防 本 部		出雲市渡橋町 253番地1	敷地面積 5,984.17㎡ ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造(一部4階建) 延面積 3,788.13㎡ ○訓練棟 主塔 鉄筋コンクリート造7階建 延面積 455.49㎡ 副塔 鉄骨造3階建 延面積 213.30㎡ 設備棟 鉄筋コンクリート造平屋建 床面積 28.00㎡	H10. 3.20 竣工		
	本 署						
	西 部 分 署	出雲市多伎町久村 509番地				敷地面積 993.70㎡ ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造 2階建 延面積 286.24㎡	S47. 3.31 竣工 S58. 3. 5 増築 H 3. 9.20 増築 H 5.10. 5 増築 H15.10.30 増築
	南 部 分 署	出雲市佐田町反辺 1747番地17				敷地面積 460.24㎡ ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造 2階建 延面積 262.97㎡ ○車庫 (兼倉庫) 木造カラー鉄板瓦棒葺き平屋建 延面積 36.00㎡	H 7. 3.20 竣工 H11.10. 4 増築
	斐 川 出 張 所		簸川郡斐川町大字 荘原町2172番地	敷地面積 461.00㎡ ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造 2階建 延面積 261.20㎡	S47. 3.31 竣工 H 4.10. 9 増築 H14.10.30 増築		
平 田 消 防 署			出雲市平田町 951番地1	敷地面積 391.50㎡ ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造3階建(一部4階建) 延面積 888.75㎡	S41. 1.11 竣工		
大 社 消 防 署			出雲市大社町杵築南 1395番地	敷地面積 230.00㎡ ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造4階建 延面積 240.00㎡ ○車庫棟 鉄骨スレート造一部2階建 延面積 331.10㎡	S40. 5. 5 竣工 H11.10.20 竣工		

●出雲市外 4 町広域消防組合の沿革

昭和23年（1948） 3月7日	消防組織法（昭和22年法律第226号）が施行され、自治体消防が発足
昭和23年（1948） 4月26日	出雲市消防本部設置（出雲市今市町743番地2）職員定数4名
昭和25年（1950） 9月1日	常設消防組織となる。（職員新規採用10名、職員定数14名）
昭和30年（1955） 3月22日	簸川郡朝山村、稗原村及び上津村が出雲市に編入合併する。
昭和30年（1955） 5月13日	出雲市消防本部が元出雲市警察署庁舎（新町興正町）へ移転
昭和31年（1956） 4月1日	簸川郡神門村、神西村、長浜村が出雲市に編入合併
昭和33年（1958） 5月1日	出雲市今市町109番地1に出雲市役所庁舎が完成し、新庁舎に消防本部が移転
昭和43年（1968） 12月20日	出雲市消防庁舎（出雲市今市町106番地1市庁舎隣接）新築竣工
昭和44年（1969） 9月1日	昭和44年政令第97号の施行に伴い救急業務を開始
昭和46年（1971） 2月4日	消防本部、消防署の義務設置の政令指定について自治省消防庁へ陳情書提出
昭和46年（1971） 3月8日	島根県知事へ、出雲市外 4 町広域消防組合の設立について申請
昭和46年（1971） 3月15日	島根県知事より、出雲市外 4 町広域消防組合の設立許可
昭和46年（1971） 6月1日	出雲市外 4 町広域消防組合準備事務のため事務局設置 自治省告示第110号により、消防本部及び消防署を置かなければならない市町村を定める政令（昭和46年政令第170号）本則に基づき次のとおり指定される。（斐川町、佐田町、多伎町、湖陵町）
昭和47年（1972） 3月31日	出雲市消防本部発足24年の歴史に幕を閉じる。
昭和47年（1972） 4月1日	出雲市外 4 町広域消防組合発足
昭和47年（1972） 4月1日	出雲市外 4 町広域消防組合消防本部出雲消防署設置 （出雲市今市町106番地1） 職員定数82名
昭和47年（1972） 4月1日	出雲市外 4 町広域消防組合消防職員採用 出雲市派遣職員46名、組合採用職員36名、計82名
昭和47年（1972） 5月1日	東部分署（現斐川出張所）及び西部分署を設置それぞれ消防職員11名、消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台を配置し消防、救急業務を開始 西部分署佐田出張所へ消防職員2名を配置
昭和48年（1973） 5月25日	島根県農業共済組合連合会より、救急自動車（3B型）の寄贈を受け東部分署へ配備
昭和48年（1973） 10月17日	小型動力ポンプ積載車（軽貨物自動車）を西部分署佐田出張所へ配備
昭和49年（1974） 5月1日	小型動力ポンプ積載車（普通貨物自動車）を西部分署佐田出張所へ更新配備
昭和50年（1975） 2月6日	水槽付消防ポンプ自動車（2t水槽付）を購入本署へ配備
昭和50年（1975） 6月24日	（財）日本消防協会より、消防広報車（広報装置一式配備）の寄贈を受け本署へ配備
昭和50年（1975） 12月1日	防衛施設庁補助事業を受け、消防ポンプ自動車（A-2級・ジープ車）を購入本署へ配備
昭和52年（1977） 3月23日	出雲ライオンズクラブ（会長 奥井誓雄）より、査察車の寄贈を受け予防課へ配備
昭和53年（1978） 3月27日	（社）日本損害保険協会より、水槽付消防ポンプ自動車（1.6t水槽付）の寄贈を受け本署へ配備

昭和53年（1978） 4月27日	小型動力ポンプ積載車（ジープ車）を佐田出張所へ更新配備
昭和53年（1978） 11月27日	島根県農業共済組合連合会より、救急自動車（2 B型）の寄贈を受け東部分署へ配備
昭和53年（1978） 12月 8日	化学消防ポンプ自動車（3型）を購入本署へ配備
昭和53年（1978） 12月26日	指令車を購入本署へ配備
昭和54年（1979） 2月 7日	（社）日本損害保険協会より、救急自動車（2 B型）の寄贈を受け西部分署へ配備
昭和54年（1979） 4月 1日	職員新規採用4名、職員定数86名
昭和54年（1979） 9月30日	出雲中央ライオンズクラブより、広報車の寄贈を受け本署へ配備
昭和54年（1979） 11月16日	消防防災施設等整備費補助事業により30メートル級はしご付消防ポンプ自動車を購入本署へ配備
昭和56年（1981） 2月 6日	（社）日本損害保険協会より、救急自動車（2 B型）の寄贈を受け佐田出張所へ配備
昭和56年（1981） 4月 6日	救急自動車（2 B型）を購入本署へ配備
昭和56年（1981） 11月10日	（財）日本防火協会より、広報車（広報装置・映写装置一式装備）の寄贈を受け本署へ配備
昭和57年（1982） 5月30日	出雲市防火協会より、広報車の寄贈を受け予防課へ配備
昭和57年（1982） 9月10日	防衛施設庁補助事業を受け、水槽付消防ポンプ自動車（A-2級・1.5 t 水槽付）を購入本署へ配備
昭和57年（1982） 9月20日	（財）日本消防協会より、救急自動車（2 B型）の寄贈を受け本署へ配備
昭和58年（1983） 8月 8日	消防ポンプ自動車（A-2級）を購入西部分署へ配備
昭和59年（1984） 8月31日	消防ポンプ自動車（A-2級・電動ホースカー装備）を購入本署へ配備
昭和59年（1984） 9月30日	出雲中央ライオンズクラブより、水防防災車の寄贈を受け本署へ配備
昭和59年（1984） 11月30日	島根県農業共済組合連合会より、救急自動車（2 B型）の寄贈を受け本署へ配備
昭和60年（1985） 8月 8日	（財）日本消防協会より、救急自動車（2 B型）の寄贈を受け西部分署へ配備
昭和60年（1985） 11月14日	救助工作車（バスケット・照明塔付）を購入本署へ配備
昭和61年（1986） 10月 1日	消防ポンプ自動車（A-2級・ジープ車・ホースカー装備）を購入本署へ配備
昭和61年（1986） 10月 1日	大型救急自動車（22人乗）を購入本署へ配備
昭和61年（1986） 10月10日 ～12日	防災展『防災フェア'86』を開催（出雲地区防火協会と共催） 於、デパートパラオ
昭和62年（1987） 5月30日	小型ポンプ積載車（軽キャブバン・4WD）を購入東部分署へ配備
昭和62年（1987） 8月 6日	（社）日本損害保険協会より、水槽付消防ポンプ自動車（A-2級・1.5 t 水槽付）の寄贈を受け本署へ配備
昭和62年（1987） 10月 8日	査察車（査察1号車）を購入予防課へ配備
昭和62年（1987） 10月17日	防災講演会〔（財）出雲地区防火協会・（社）日本損害保険協会共催〕を開催、 講師 日本気象協会主任技師 宮沢清治氏

昭和63年（1988）	1月8日	島根県農業共済組合連合会より、救急自動車（2B型）の寄贈を受け東部分署へ配備
昭和63年（1988）	4月1日	救急自動車（2B型・4WD）を購入佐田出張所へ配備
昭和63年（1988）	10月8日	母と子の防火大会開催〔(財)出雲地区防火協会・(財)日本防火協会共催〕 出雲市体育館に幼年消防、婦人防火クラブ員等 1,000名参加
昭和63年（1988）	11月16日	消防ポンプ自動車（A-2級・CD-1・4WD・電動ホースカー装備）を購入佐田出張所へ配備
平成元年（1989）	9月27日	広報車（広報2号車）を購入本署へ配備
平成元年（1989）	10月16日	出雲遊技業防犯協力会より、救急自動車（2B型・4WD）の寄贈を受け本署へ配備
平成元年（1989）	12月22日	(株)船場、(株)装備より、救急自動車（2B型）の寄贈を受け本署へ配備
平成2年（1990）	1月20日	防衛施設庁補助事業を受け、水槽付消防ポンプ自動車（A-2級・1.5t水槽付）を購入本署へ配備
平成2年（1990）	4月19日	出雲市今市町代官町火災10周年にあたり、出雲市消防団との合同による大火想定訓練を実施する。
平成2年（1990）	4月26日	小型ポンプ積載車（軽キャブバン・4WD）を購入西部分署へ配備
平成2年（1990）	5月8日	査察車（査察2号車）を購入予防課へ配備
平成2年（1990）	9月19日	(財)日本防火協会より、斐川町商工会婦人防火クラブへ広報車（防火号）の寄贈を受け本署へ配備
平成2年（1990）	11月27日	指令車（指令1号車）を購入本署へ配備
平成3年（1991）	4月1日	島根県消防学校へ教官として職員1名を派遣
平成3年（1991）	8月21日	(財)日本消防協会より、救急車（2B型）の寄贈を受け本署へ配備
平成3年（1991）	9月11日	指令車（指令2号車）を購入本署へ配備
平成3年（1991）	10月1日	佐田町黒山山頂に、消防無線中継所を開設
平成4年（1992）	4月1日	職員定数条例の改正により職員定数112名となる。職員新規採用9名（職員退職に伴う補充1名を含む）計94名となる。
平成4年（1992）	6月18日	出雲市外4町広域消防組合発足20周年記念式典挙行
平成5年（1993）	4月1日	職員新規採用13名（職員定数条例の改正及び職員退職に伴う補充1名を含む）計106名となる。職員定数112名
平成5年（1993）	4月1日	島根県消防学校へ教官として職員1名を派遣
平成5年（1993）	5月31日	消防組合初めての救急救命士1名誕生
平成5年（1993）	12月15日	消防防災施設等整備費補助事業により、化学消防ポンプ自動車を購入本署へ配備
平成6年（1994）	4月1日	職員定数条例の改正により職員定数113名となる。職員新規採用8名（職員退職に伴う補充1名を含む）計113名となる。
平成6年（1994）	4月1日	島根県防災航空隊へ隊員として職員1名を派遣開始
平成7年（1995）	1月17日	阪神・淡路大震災による火災鎮圧のため、神戸市にタンク車1台、職員5名の応援隊を派遣

平成7年(1995) 1月25日	消防防災施設等整備費補助事業により、消防ポンプ自動車(CD-1型・電動ホースカー装備)を購入本署へ配備
平成7年(1995) 3月11日	防衛施設庁補助事業を受け、水槽付消防ポンプ自動車(I-A型・1.5t水槽付)を購入本署へ配備
平成7年(1995) 3月20日	出雲消防署佐田出張所新庁舎竣工
平成7年(1995) 3月21日	救急自動車(2B型・防振ストレッチャー装備)を東部分署へ配備
平成7年(1995) 4月1日	出雲消防署佐田出張所を出雲消防署南部分署に名称変更し、災害出場区域に出雲市乙立町を加え、業務開始
平成7年(1995) 4月1日	職員定数条例の改正により職員定数119名となる。職員新規採用3名(職員退職に伴う補充2名を含む)、計114名となる。
平成7年(1995) 9月22日	防災2号車を本署へ更新配備
平成7年(1995) 9月25日	査察1号車を消防本部へ更新配備
平成7年(1995) 10月1日	職員新規採用3名、計117名となる。
平成7年(1995) 10月26日	消防防災施設等整備費補助事業により、消防ポンプ自動車(CD-1型・4WD・電動ホースカー装備)を西部分署へ更新配備
平成8年(1996) 1月31日	積載車を出雲消防署南部分署へ増強配備
平成8年(1996) 3月15日	消防防災施設等整備費補助事業により、高規格救急自動車(日産パラメディック)を出雲消防署本署へ配備
平成8年(1996) 4月1日	職員新規採用6名(職員退職に伴う補充4名含む)、計119名となる。職員定数119名
平成8年(1996) 9月21日 ～22日	『防災フェア'96いずも』開催
平成8年(1996) 12月1日	高規格救急自動車運用開始
平成8年(1996) 12月6日	救急自動車(2B型・9項目対応)を購入南部分署へ配備
平成9年(1997) 9月2日	「出雲消防音楽隊」結成。隊員数26名
平成10年(1998) 2月3日	消防防災施設等整備費補助事業により、消防ポンプ自動車(CD-1型・電動ホースカー装備)を購入本署へ配備
平成10年(1998) 3月20日	出雲市外4町広域消防組合消防本部・出雲消防署新庁舎竣工(出雲市渡橋町253番地1)
平成10年(1998) 3月27日	消防緊急通信指令施設Ⅱ型完工
平成10年(1998) 3月30日	消防用無線通信設備完工
平成10年(1998) 4月1日	(財)日本消防協会より、救急自動車(2B型)1台の寄贈を受け本署へ配備 職員新規採用3名(職員退職に伴う補充2名含む)、計120名(条例定数119名・条例定数外1名)となる。 うち、当消防組合に初めて女性消防吏員1名採用 消防庁舎移転に伴い消防本部、消防署の組織を改める。
平成10年(1998) 4月18日 ～19日	新庁舎へ移転、業務を開始(出雲市渡橋町253番地1)

平成10年（1998）	4月27日	消防庁舎竣工式が挙行される。
平成10年（1998）	9月24日	（社）日本損害保険協会より、水槽付消防ポンプ自動車（I-A型1.5t水槽付）の寄贈を受け東部分署へ配備
平成11年（1999）	10月20日	消防防災施設等整備費補助事業により、はしご付消防ポンプ自動車（30 ^級 ）を本署へ更新配備
平成11年（1999）	12月20日	積載車を出雲消防署東部分署へ更新配備
平成12年（2000）	4月1日	職員新規採用2名、計122名となる。職員定数121名（定数外1名）
平成12年（2000）	4月1日	（財）日本消防協会へ職員1名を研修派遣
平成12年（2000）	5月21日	防災イベント開催（於：ビッグハート出雲）
平成12年（2000）	8月24日	消防防災施設等整備費補助事業により消防ポンプ自動車（A-2級・CD-1・4WD・電動ホースカー装備）を購入南部分署へ更新配備
平成12年（2000）	9月28日	消防防災施設等整備費補助事業により救助工作車（II型・4WD）を購入本署へ配備
平成12年（2000）	12月4日	救急ワークステーション運用開始
平成13年（2001）	3月27日	（社）日本損害保険協会より、高規格救急自動車（トヨタハイメディック）1台の寄贈を受け本署へ配備
平成13年（2001）	9月20日	マイクロバスを本署へ更新配備
平成14年（2002）	3月18日	（財）日本消防協会より赤バイ3台の寄贈を受け本署へ配備
平成14年（2002）	4月1日	（財）日本消防協会へ職員1名を派遣
平成14年（2002）	7月1日	広報車を本部へ更新配備
平成14年（2002）	7月24日	第25回全国消防職員意見発表（国立京都国際会館）へ出場 最優秀賞を受賞
平成14年（2002）	10月18日	出雲市外4町広域消防組合発足30周年記念式典
平成14年（2002）	11月27日	消防防災施設等整備費補助事業により高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を東部分署へ更新配備
平成14年（2002）	12月27日	出雲地区合併協議会消防防災専門部会及び分科会設置
平成15年（2003）	1月22日	防衛施設庁補助事業により水槽付消防ポンプ自動車（I-A型）を購入本署へ配備
平成15年（2003）	2月1日	出雲消防イントラネット事業運用開始並びにホームページ開設
平成15年（2003）	4月1日	出雲消防救急救命センターを設置し消防署の組織を改める。
平成15年（2003）	7月30日	積載車を出雲消防署西部分署へ更新配備
平成15年（2003）	11月21日	消防防災施設等整備費補助事業により高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を西部分署へ更新配備
平成16年（2004）	11月8日	指令1号車を消防本部へ更新配備
平成16年（2004）	12月1日	消防防災施設等整備費補助事業により高規格救急自動車（ニッサンパラメディック）を南部分署へ更新配備
平成17年（2005）	3月21日	2市4町の合併により、出雲市外4町広域消防組合解散となる。

●平田市消防本部の沿革

昭和23年（1948） 3月 7日	消防組織法（昭和22年法律第226号）が施行され、自治体消防が発足
昭和26年（1951） 4月 1日	平田町、灘分村、国富村、西田村、鰐淵村、久多美村、檜山村、東村の1町7村が合併して平田町となる。
昭和26年（1951） 11月30日	平田町消防本部設置（平田町951番地1）職員定数4名
昭和27年（1952） 10月	平田町消防署設置 平田町初の消防ポンプ自動車を購入配備
昭和29年（1954） 10月 1日	一畑電気鉄道㈱より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け配備
昭和30年（1955） 1月 1日	平田町、北浜村及び佐香村の1町2村が合併して平田市となる。
昭和30年（1955） 3月	平田市初の消防専用無線電話機を購入、消防署に基地局、消防車に移動局を設置
昭和35年（1960） 4月 1日	伊野村を編入する。
昭和35年（1960） 9月	消防ポンプ自動車を購入配備
昭和38年（1963） 11月 9日	消防指揮車1台を購入配備
昭和41年（1966） 4月11日	消防庁舎竣工（平田町951番地1）
昭和41年（1966） 5月26日	（社）日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受け配備
昭和41年（1966） 11月	水槽付消防ポンプ自動車を購入配備
昭和43年（1968） 9月	消防ポンプ自動車を購入配備
昭和44年（1969） 9月 1日	救急自動車を購入配備 昭和44年政令第97号の施行に伴い救急業務を開始
昭和45年（1970） 10月 1日	指揮連絡車を購入配備
昭和46年（1971） 6月15日	消防署勤務体制が当直制から交替勤務制となる。 職員数32名（内兼務職員9名）
昭和52年（1977） 7月 5日	消防ポンプ自動車を購入配備
昭和55年（1980） 11月	（財）日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け配備
昭和56年（1981） 4月 1日	兼務制度から専任制度となる。 職員数27名
昭和56年（1981） 5月 7日	（社）日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受け配備
昭和56年（1981） 5月	平田ライオンズクラブより査察広報車の寄贈を受け配備
昭和57年（1982） 2月	島根県共済農業協同組合連合会より救急自動車の寄贈を受け配備
昭和58年（1983） 10月	水槽付消防ポンプ自動車を購入配備
昭和59年（1984） 10月	消防通信指令装置を購入、通信体制の万全を図る。
昭和61年（1986） 4月23日	防火広報車を購入配備

平成元年（1989）	8月30日	第11回島根県総合防災訓練が平田市役所前及び宍道湖公園にて実施され、消防関係者外91機関 4,400人が参加した。
平成2年（1990）	1月	平田ライオンズクラブより査察広報車の寄贈を受け配備
平成2年（1990）	2月	救急自動車を購入配備
平成2年（1990）	8月	(社)日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受け配備
平成2年（1990）	10月	資機材搬送車を購入配備
平成4年（1992）	2月	救助工作車、救助資機材を購入配備
平成4年（1992）	9月	(財)日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け配備
平成4年（1992）	12月	職員の定数条例の改正により職員定数36名となる。
平成5年（1993）	1月	島根県共済農業協同組合連合会より救急自動車の寄贈を受け配備
平成6年（1994）	4月1日	島根県防災航空隊へ隊員として職員1名を派遣
平成7年（1995）	1月17日	阪神・淡路大震災により救助工作車1台職員4名の応援隊を派遣 平田市立病院医師、看護師、消防職員3名体制で救急隊を1月間派遣
平成8年（1996）	6月5日	第18回島根県総合防災訓練、小津町密集地火災消火訓練が河下工業団地及び小津町地内で実施され、消防関係者外112機関 5,300人が参加
平成9年（1997）	3月	消防用無線中継施設を摺木山に設置
平成9年（1997）	8月	布勢地区において総合防災訓練を実施
平成9年（1997）	11月	平田市消防本部初めての救急救命士1名誕生
平成10年（1998）	4月1日	職員の定数条例の改正により職員定数39名となる。
平成10年（1998）	11月	高規格救急車、高度救命資機材を購入配備
平成10年（1998）	12月	消防ポンプ自動車（CD-1 B型）を購入配備
平成11年（1999）	4月1日	島根県防災航空隊へ隊員として職員1名を派遣
平成12年（2000）	2月	島根県共済農業協同組合連合会より救急自動車（2 B型）の寄贈を受け配備
平成12年（2000）	3月	資機材搬送車を購入配備
平成12年（2000）	4月1日	職員の定数条例の改正により職員定数40名となる。
平成12年（2000）	8月	第52回島根県消防大会、第44回島根県消防操法大会を平田市で開催
平成13年（2001）	5月	水槽付消防ポンプ自動車（II型）を購入配備
平成13年（2001）	10月	非常順次通報装置を購入設置
平成16年（2004）	8月10日	宝くじ協会より消火通報訓練指導車の寄贈を受け配備

●大社町消防本部の沿革

昭和23年（1948）	3月7日	消防組織法（昭和22年法律第226号）が施行され、自治体消防が発足
昭和26年（1951）	4月1日	大社町、荒木村、遥堪村、日御碕村、鷓鷯村が合併し大社町となる。
昭和27年（1952）	7月1日	消防団常備制度実施
昭和27年（1952）	12月15日	消防ポンプ自動車を購入、消防団本部へ配備
昭和30年（1955）	3月7日	消防ポンプ自動車を購入、消防団本部に配備
昭和37年（1962）	9月1日	大社町消防本部を設置（大字杵築南1344番地）職員定数6名（内兼務職員4名）
昭和37年（1962）	12月1日	大社町消防署を設置（大字杵築南1344番地）
昭和37年（1962）	12月26日	超短波無線局を開設（消防署に基地局、消防車に移動局を設置）
昭和39年（1964）	4月1日	大社町消防本部条例定数が7名（内兼務職員2名）
昭和39年（1964）	12月1日	消防本部及び消防署の職員12名をもって新しい消防体制を確立
昭和41年（1966）	4月1日	大社町消防本部・消防署庁舎新築竣工（大字杵築南1395番地）
昭和42年（1967）	4月1日	消防職員定数23名（内兼務職員12名）
昭和42年（1967）	10月6日	消防ポンプ自動車1台を購入、消防署へ更新配備
昭和43年（1968）	11月18日	（社）日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け、消防署へ配備
昭和44年（1969）	9月1日	（昭和44年政令第97号）が施行され、人口3万人未満であるが救急業務を任意実施で開始
昭和50年（1975）	11月1日	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入、消防署へ配備
昭和51年（1976）	2月20日	島根県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、消防署へ配備
昭和55年（1980）	9月30日	消防ポンプ自動車（BD-1型）を購入、消防署へ配備
昭和55年（1980）	10月5日	大社ライオンズクラブから指令車の寄贈を受け、消防署へ配備
昭和56年（1981）	11月9日	（社）日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受け消防署へ更新配備
昭和57年（1982）	7月1日	出雲大社教より救急自動車の寄贈を受け、消防署に更新配備
昭和59年（1984）	5月31日	消防職員定数24名
昭和62年（1987）	7月1日	（財）日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け、消防署へ配備
昭和63年（1988）	1月16日	島根県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、消防署へ配備
昭和63年（1988）	4月14日	（社）日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け、消防署へ更新配備
平成2年（1990）	8月18日	ショッピングセンター『エル』において第一回ふれあい消防展を開催
平成3年（1991）	2月25日	大社ロータリークラブより指令車の寄贈を受け、消防署へ配備

平成4年(1992) 4月11日	出雲大社教より救急自動車の寄贈を受け、消防署に更新配備
平成4年(1992) 11月1日	大社町消防フェスティバルを開催
平成5年(1993) 10月29日	消防ポンプ自動車(CD-1型)を購入、消防署へ配備
平成7年(1995) 1月17日	阪神・淡路大震災による島根県消火隊として神戸市にタンク車1台、職員3名の応援隊を派遣
平成7年(1995) 3月5日	第1回大社町防災訓練参加(全町住民参加型訓練)
平成8年(1996) 1月25日	高規格救急自動車(高度救命処置用資器材一式含)を購入、消防署へ配備
平成8年(1996) 3月3日	第2回大社町防災訓練参加(全町住民参加型訓練)
平成8年(1996) 4月1日	島根県防災航空隊に職員1名派遣
平成8年(1996) 11月7日	大社町消防本部第1号の救急救命士誕生
平成8年(1996) 11月10日	第3回大社町防災訓練参加(全町住民参加型訓練)
平成9年(1997) 3月19日	防衛施設庁補助事業により、消防ポンプ自動車(CD-1型)を購入、消防署へ配備
平成11年(1999) 10月22日	(社)日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け、消防署へ更新配備
平成12年(2000) 12月19日	救助工作車(II型、救助資機材含)を購入消防署へ配備
平成13年(2001) 3月5日	(財)日本消防協会より、指令車の寄贈を受け消防署へ配備
平成13年(2001) 8月9日	出雲大社教より高規格救急自動車(高度救命処置用資器材一式含)の寄贈を受け、消防署に更新配備
平成15年(2003) 11月2日	第4回大社町防災訓練参加(全町住民参加型訓練)

●出雲市消防本部の沿革

平成17年（2005）3月22日 出雲市、平田市、佐田町、多伎町、湖陵町及び大社町の合併により、出雲市外4町広域消防組合、平田市消防本部及び大社町消防本部が統合され出雲市消防本部が発足する。

条例定数、190名、1本部3署2分署1出張所とする。

斐川町の消防事務については受託方式とする。

平成17年（2005）12月20日 高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入、平田消防署へ更新配備
 平成18年（2006）3月22日 摺木山消防無線中継所局舎新設

新消防本部・署配置図

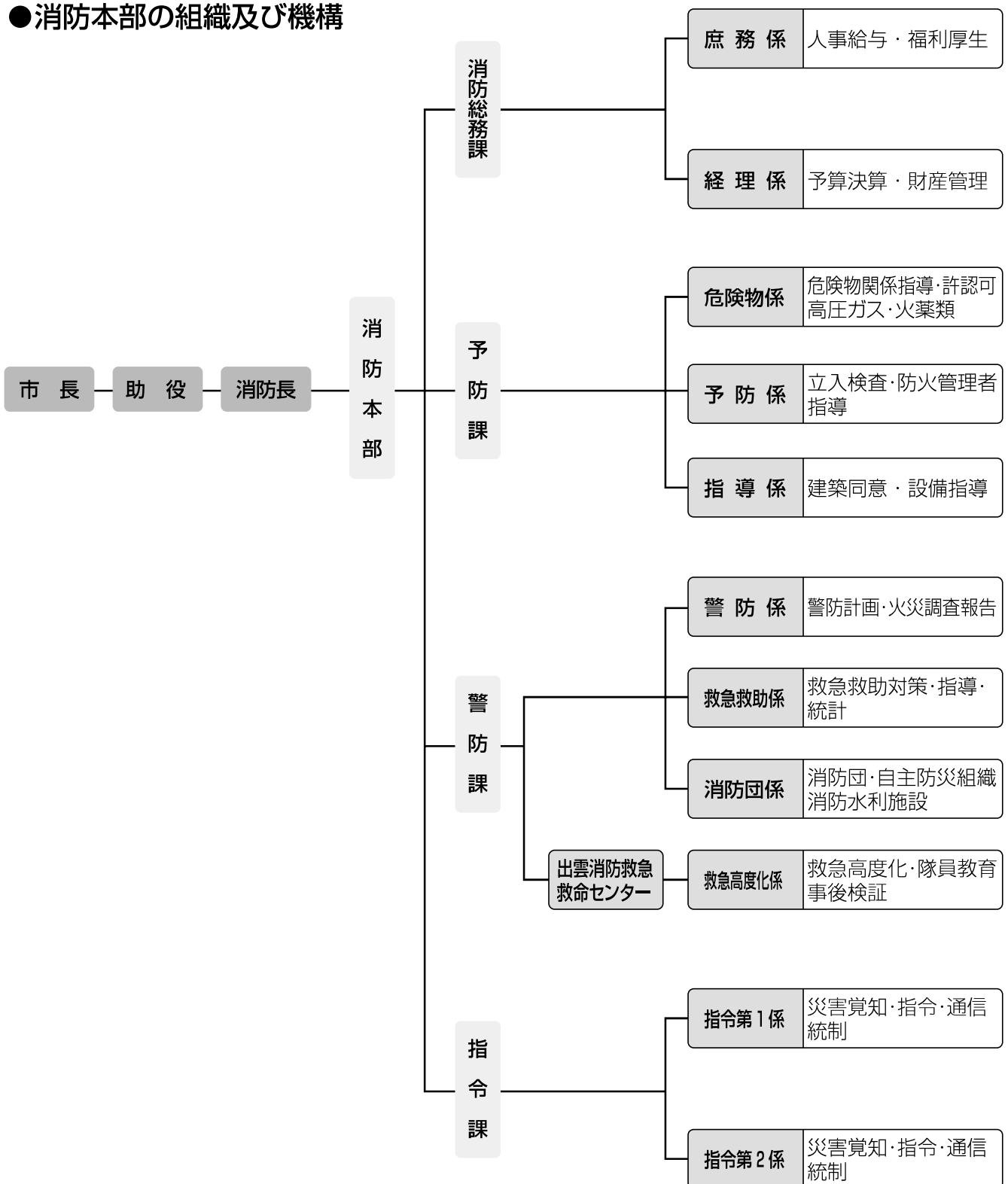




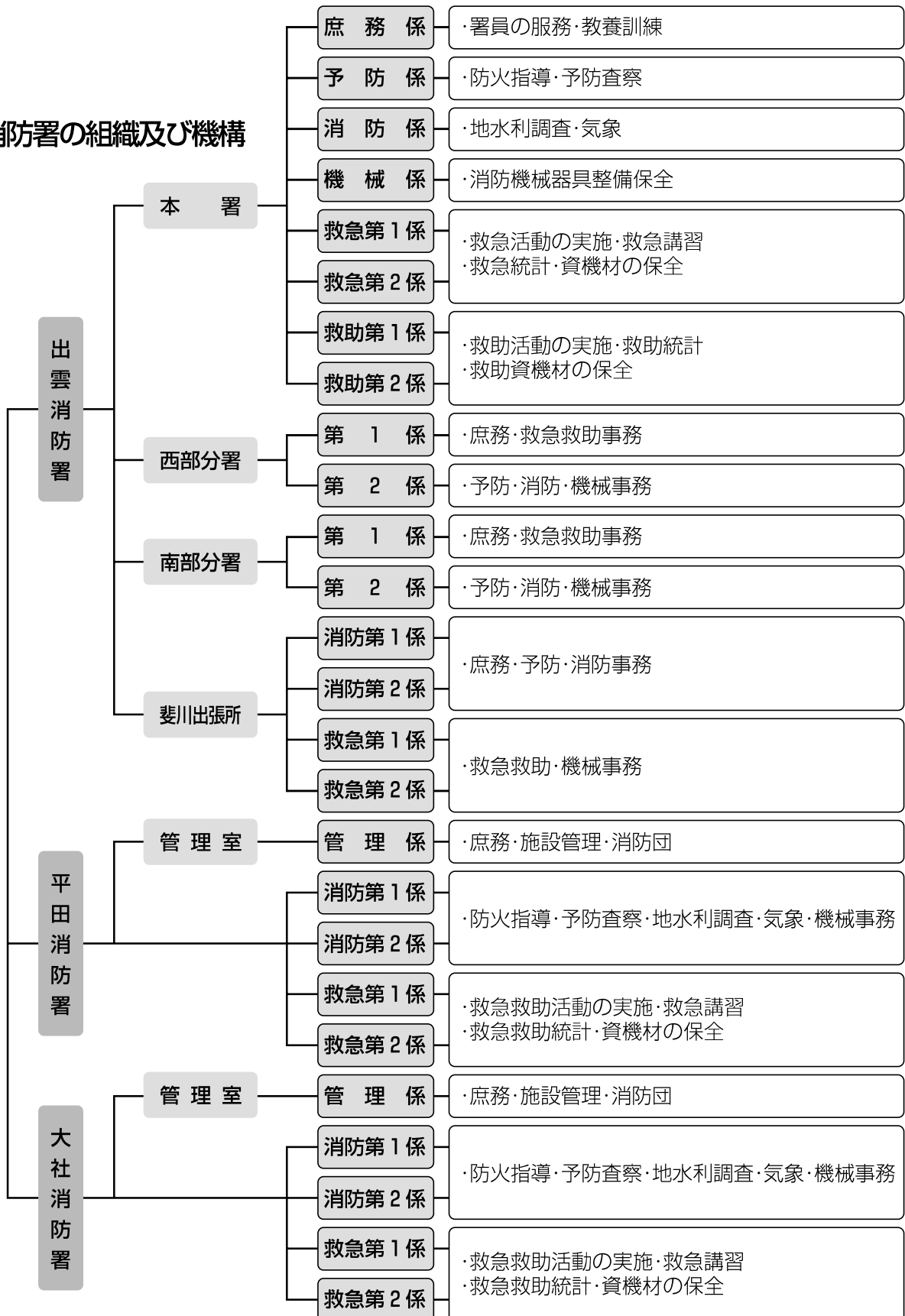
總務編

出雲市消防本部・消防署の組織及び機構

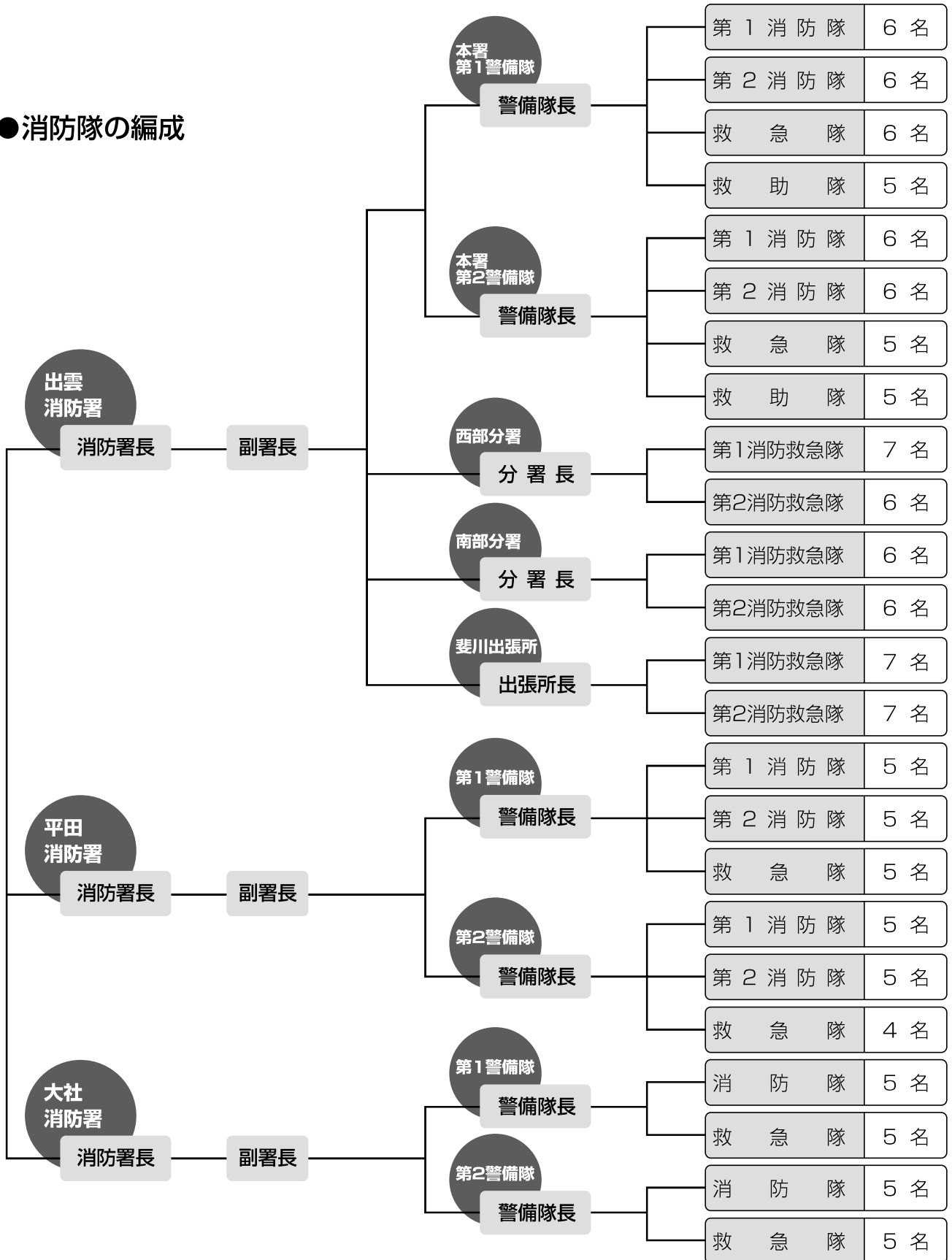
●消防本部の組織及び機構



●消防署の組織及び機構



●消防隊の編成



平成17年(2005)中の 主な行事

1月5日	仕事始め
1月8日	出雲市消防出初式
3月1日～7日	春季火災予防運動
3月22日	出雲市消防本部発足(市町合併に伴い、出雲市外4町広域消防組合、平田市消防本部、大社町消防本部が統合)
4月3日	暫定適マーク交付
5月20日	出雲地区防火協会50周年記念式典
5月24日	平成17年度権限移譲事務研修会
6月10日～11日	緊急消防援助隊全国合同訓練(静岡市)
6月28日	第29回島根県消防救助技術大会参加(島根県消防学校)
6月30日～7月1日	防火管理に関する講習会(甲種)
7月26日	第34回中国地区消防救助技術指導会参加(広島県消防学校)
8月5日	平成17年度一日少年消防体験学習(出雲消防署)
8月5日	危険物保安研修会
8月6日	第57回島根県消防大会(邑南町)
8月7日	第49回島根県消防操法大会(邑南町)
8月11日	消防広報「ひまわり」第1号発行
9月1日	出雲市防災訓練(平田)
10月3日	暫定適マーク交付
10月19日～20日	中四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練(高松)
11月9日～15日	秋季火災予防運動
11月10日	第13回消火技術訓練大会(一の谷)
11月17日	航空機事故消火救難総合訓練参加(出雲空港)
11月24日～25日	防火管理に関する講習会(甲種)
11月30日	平成17年度違反是正研修会
12月6日～7日	防火管理に関する講習会(甲種)
12月29日	仕事納め

●平成18年度(2006)出雲市消防本部当初予算

(単位 千円)

項 目	節	予 算 額
消防費		2,154,597
常備消防費		1,496,882
	給料	690,436
	職員手当等	510,380
	共済費	146,190
	賃金	4,745
	報償費	498
	旅費	6,544
	交際費	50
	需用費	57,400
	役務費	24,259
	委託料	28,721
	使用料及び賃借料	6,852
	工事請負費	2,300
	原材料費	83
	備品購入費	3,599
	負担金補助、及び交付金	13,199
	公課費	1,626
非常備消防費		191,021
	報酬	69,500
	災害補償費	10
	報償費	45,014
	旅費	553
	交際費	330
	需用費	17,045
	役務費	5,022
	委託料	250
	使用料及び賃借料	524
	負担金補助、及び交付金	51,197
	補償補てん及び賠償金	10
	公課費	1,566

消防施設費		431,332
	旅費	60
	需用費	2,025
	役務費	150
	委託料	925
	使用料及び賃借料	15
	工事請負費	346,100
	原材料費	350
	公有財産購入費	1,575
	備品購入費	68,800
	負担金補助、及び交付金	11,000
	積立金	22
	公課費	310
防災費		28,862
	報酬	3,000
	報償費	1,605
	需用費	3,744
	役務費	148
	委託料	5,179
	使用料及び賃借料	442
	備品購入費	2,249
	負担金補助、及び交付金	12,475
	積立金	20
防災施設費		6,500
	報償費	192
	旅費	24
	需用費	84
	工事請負費	6,200
		2,154,597

市総予算との比較

(単位 千円)

年次別	区分	市総予算額	消防費予算額	市総予算と消防費との比
平成18年度		68,370,000	2,154,597	3.15

職員の現況

●職員配置

所 属	区 分	総 計	消 防 吏 員							消 防 事 務 吏 員	
			消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長		消 防 士
総 計		189	1	2	6	30	41	39	29	38	3
消 防 本 部	計	42(7)	1	2(1)	3	9(1)	8(2)	10	2(3)	4	3
	消 防 長	1	1								
	次 長	2		2							
	消 防 総 務 課	8(1)		(1)		2	4	2			
	予 防 課	9			1	2	3	1		2	
	警 防 課	7			1	2		1			3
	出雲消防救急救命センター 指 令 課	2(6) 13				1(1) 2	(2) 1	1 5	(3) 2		2
出 雲 消 防 署	計	90(1)		(1)	1	12	21	20	16	20	0
	署 長	(1)		(1)							
	副 署 長	1			1						
	本署第1警備隊	24				3	6	5	4	6	
	本署第2警備隊	23				3	6	5	4	5	
	西 部 分 署	14				2	4	2	4	2	
	南 部 分 署	13				2	2	4	2	3	
	斐川出張所	15				2	3	4	2	4	
平 田 消 防 署	計	32			1	6	6	5	6	8	0
	署 長	1			1						
	副 署 長	1				1					
	管 理 室	2				1	1				
	第 1 警 備 隊	14				1	4	2	4	3	
	第 2 警 備 隊	14				3	1	3	2	5	
大 社 消 防 署	計	25(1)			1	3(1)	6	4	5	6	0
	署 長	1			1						
	副 署 長	1				1					
	管 理 室	1(1)				(1)	1				
	第 1 警 備 隊	11				1	3	1	3	3	
	第 2 警 備 隊	11				1	2	3	2	3	

定数外職員を含む () 内は兼務

●職員の年齢

階級 年齢	計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
計	186	1	2	6	30	41	39	29	38
18才～20才	4								4
21才～25才	23								23
26才～30才	37							26	11
31才～35才	40					4	34	2	
36才～40才	19					13	5	1	
41才～45才	12					12			
46才～50才	13				6	7			
51才～55才	35	1	2	4	23	5			
56才以上	3			2	1				

(平均年齢36.8才)

※定数外職員を含む

●職員の勤務年数

区分 在職年数	計	5年未満	5年～9年	10年～14年	15年～19年	20年～24年	25年～29年	30年～34年	35年以上
職員	186	27	21	61	12	13	15	34	3

※定数外職員を含む

消 防 力

●消防職員の資格免許取得状況

区 分		取得人員	区 分	取得人員
自 動 車 運 転 免 許	大 型 特 殊	16	移 動 式 ク レ ー ン	87
	大 型 二 種	3	玉 掛 け 技 能	78
	大 型 一 種	165	毒 物 取 扱 者	1
	普 通 二 種	0	潜 水 士	5
	普 通 一 種	186	小 型 船 舶 操 縦 士	33
	け ん 引	5	救 急 救 命 士	38
	自 動 二 輪	104	救 急 II 課 程 修 了 者	98
整 備	二級ガソリン整備士	1	救 急 標 準 課 程 修 了 者	42
	二級ディーゼル整備士	1	電 気 工 事 士	2
	三級シャーシ整備士	2	車 両 系 建 設 機 械 運 転 技 能 者	8
特 殊 無 線 技 士	1 級	8	可 搬 消 防 ポ ン プ 等 整 備 資 格 者	7
	2 級	105	足 場 組 立 作 業 主 任 者	7
	3 級	4	特 定 化 学 物 質 等 作 業 主 任 者	2
ア マ チ ュ ア 無 線 技 士		21	ガ ス 溶 接 講 習 修 了	29
危 険 物 取 扱 者	甲 種	4	ア ー ク 溶 接 講 習 修 了	10
	乙 種	54	研 削 と い し 講 習 修 了	1
	丙 種	86	第 二 種 酸 素 欠 乏 危 険 作 業 主 任 者	20
消 防 設 備 士	甲 種	1	介 護 福 祉 士	1
	乙 種	76	高 圧 ガ ス 製 造 責 任 者 (丙 種 化 学)	9

※定数外職員を含む

●消防相互応援協定状況

協定先の市町村、機関、事業所等の名称	協定の内容	締結年月日	締結方法
島根県下市町村及び消防にかかる一部事務組合	相互応援協定 (大規模火災及び特殊災害)	昭和52年4月1日	文書
島根県内の市町村、消防の一部事務組合及び消防を含む一部事務組合	島根県防災ヘリコプター応援協定	平成6年3月28日	文書
島根県出雲空港管理事務所	出雲空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定	平成17年3月22日	文書
島根県内消防本部	救急業務に関する相互応援協定	平成18年1月1日	文書
境海上保安部	境海上保安部と出雲市消防本部との消防業務協定	平成18年3月1日	文書

広 報

●広報実施状況

平成17年度(2005)

区 分	実 施 回 数
有・無線放送による広報	316回
消防広報ひまわり発刊	2回(100,000枚)
市町広報誌による広報	0回
防火指導会	76回(6,500人)
防火映画会	35回(3,271人)
巡回広報	136回
署見学	47回(1,878人)
計	612回(11,649人)

出雲消防音楽隊

●音楽隊の概況

【結成年月日】平成9年（1997）9月2日

【結成の目的】

平成10年自治体消防50周年の節目の年にあたり、新しい防災の拠点として最新鋭の機器を導入した「出雲市外4町広域消防組合消防本部・出雲消防署本署」の消防庁舎を移転新築した機会をとらえ、演奏によって消防広報を高め、住民と密着した防火防災意識の啓発を促し『消防職員の志気と情操をより高揚すること』を目的に結成しました。

【隊員編成】

隊長1名 副隊長1名 楽長1名 副楽長2名 隊員26名

【楽器編成】

ピッコロ	1	フレンチホルン	3	バスドラム	1
フルート	2	ユーフォニウム	2	シンバル	3
B♭クラリネット	6	トロンボン	2	グロッケン	1
アルトサクソ	2	バストロンボン	1	ウッドブロック	1
テナーサクソ	1	スーザホン	2	ハーモニディレクター	
バリトンサクソ	1	チューバ	1	その他 音響設備	
トランペット	5	スネアドラム	2		

【主な活動】平成17年(2005)中

- ・消防出初式
- ・新「出雲市」発足記念・「縁結びパレード」
- ・第49回出雲市出雲消防団操法大会開会式
- ・新「出雲市」発足記念2005夢フェスタinいずも
- ・平田環状線開通式
- ・新「出雲市」発足記念
- ・21世紀出雲産業見本市2005（オープニング）
- ・出雲市役所前ツリー点灯式



「21世紀出雲産業見本市2005」於:出雲ドーム

A photograph of green fern fronds, likely a species of fennel fern, with a white circle overlaid on the right side containing the text '預防編'. The image is tilted slightly to the right.

預防編

●防火クラブの現況

	ク ラ ブ 名 称	所 在 地	結 成 年	人 員
幼 年 消 防 ク ラ ブ	平田保育所幼年消防クラブ	出 雲 市 平 田 町	昭和56年	175
	たちばな保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 大 津 町	昭和59年	188
	出東保育園幼年消防クラブ	斐 川 町 大 字 三 分 市	昭和59年	99
	西園保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 西 園 町	昭和59年	69
	ハマナス保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 湖 陵 町 二 部	昭和59年	103
	きんろう保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 大 津 新 崎 町	昭和59年	103
	荘原保育園幼年消防クラブ	斐 川 町 大 字 上 庄 原	昭和59年	103
	出西保育園幼年消防クラブ	斐 川 町 大 字 出 西	昭和59年	102
	あすなる保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 白 枝 町	昭和60年	172
	おやま保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 小 山 町	昭和60年	109
	神門保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 芦 渡 町	昭和60年	103
	中央保育所幼年消防クラブ	出 雲 市 今 市 町	昭和60年	121
	なかの保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 中 野 町	昭和60年	137
	えんや保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 上 塩 冶 町	昭和60年	90
	外園保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 外 園 町	昭和60年	48
	おおつか保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 大 塚 町	昭和60年	165
	浜山保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 浜 町	昭和60年	103
	中部保育所幼年消防クラブ	出 雲 市 東 福 町	昭和60年	103
	北部保育所幼年消防クラブ	出 雲 市 坂 浦 町	昭和60年	27
	わにぶち保育所幼年消防クラブ	出 雲 市 河 下 町	昭和60年	49
	さとがた保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 里 方 町	昭和61年	103
	出雲乳児保育所幼年消防クラブ	出 雲 市 今 市 町	昭和61年	100
	大社保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 大 社 町 杵 築 南	昭和61年	72
	こぐま保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 大 社 町 北 荒 木	昭和61年	170
	みなみ保育所幼年消防クラブ	出 雲 市 平 田 町	昭和61年	135
	平田幼稚園幼年消防クラブ	出 雲 市 西 平 田 町	昭和61年	190
	東幼稚園幼年消防クラブ	出 雲 市 園 町	昭和61年	92
	荒茅保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 荒 茅 町	平成3年	69
	多伎幼稚園幼年消防クラブ	出 雲 市 多 伎 町 小 田	平成5年	48
	こどもランド幼年消防クラブ	出 雲 市 大 社 町 修 理 免	平成7年	43
	大社幼稚園幼年消防クラブ	出 雲 市 大 社 町 杵 築 南	平成7年	56
	光幼稚園幼年消防クラブ	出 雲 市 灘 分 町	平成11年	144
出雲すみれ保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 塩 冶 町	平成13年	34	
荒木幼稚園幼年消防クラブ	出 雲 市 大 社 町 北 荒 木	平成13年	63	
遙堪幼稚園幼年消防クラブ	出 雲 市 大 社 町 遙 堪	平成13年	38	
日御碕幼稚園幼年消防クラブ	出 雲 市 大 社 町 日 御 碕	平成13年	5	
なかよし保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 大 社 町 遙 堪	平成13年	9	
鶉鷺幼稚園幼年消防クラブ	出 雲 市 大 社 町 鷺 浦	平成13年	3	
ひかり保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 塩 冶 町	平成16年	32	
計 39団体 3,575名				

	クラブ名称	所在地	結成年	人員
少年 消防 クラブ	鵜鷺少年消防クラブ	出雲市大社町鵜浦	大正12年	8
	猪目少年消防クラブ	出雲市猪目町	昭和34年	3
	美保少年消防クラブ	出雲市塩津町	昭和35年	2
	上八幡少年消防クラブ	出雲市松寄下町	昭和50年	6
	小山3D分団少年消防クラブ	出雲市小山町	昭和52年	39
	塩津町少年消防クラブ	出雲市塩津町	昭和56年	6
	直江親子会少年消防クラブ	斐川町大字直江町	昭和58年	171
	灘分地区少年消防クラブ	出雲市灘分町	昭和58年	226
	天神団地少年消防クラブ	出雲市天神町	昭和63年	81
	西野小学童クラブ少年消防クラブ	斐川町大字富村	平成11年	78
	荘原小学童クラブ少年消防クラブ	斐川町大字神庭	平成11年	36
	中部小学童クラブ少年消防クラブ	斐川町大字直江町	平成11年	46
	出東小学童クラブ少年消防クラブ	斐川町大字三分市	平成13年	14
計 13団体 716名				
	クラブ名称	所在地	結成年	人員
女性 防火 クラブ	日御碕婦人消防隊	出雲市大社町日御碕	昭和34年	23
	塩津町女性消防隊	出雲市塩津町	昭和36年	10
	胡麻谷女性消防隊	出雲市小境町	昭和43年	8
	坂浦町女性消防隊	出雲市坂浦町	昭和44年	9
	三津町女性消防隊	出雲市三津町	昭和46年	10
	玉昌寺婦人防火クラブ	斐川町大字直江町	昭和55年	110
	三ノ谷・松枝女性消防隊	出雲市野郷町	昭和56年	9
	美保町女性消防隊	出雲市美保町	昭和56年	10
	斐川町商工会女性部婦人防火クラブ	斐川町大字荘原町	昭和58年	67
	釜浦町女性消防隊	出雲市釜浦町	昭和58年	10
	鵜浦婦人防火クラブ	出雲市大社町鵜浦	昭和61年	25
	鵜峠婦人防火クラブ	出雲市大社町鵜峠	昭和61年	23
	JAいずも四絡女性部婦人防火クラブ	出雲市小山町	昭和63年	180
	小伊津町女性消防隊	出雲市小伊津町	平成元年	9
	湖陵町商工会女性部婦人防火クラブ	出雲市湖陵町二部	平成3年	39
	西地合女性消防隊	出雲市地合町	平成5年	27
	東地合女性消防隊	出雲市地合町	平成7年	24
天神団地女性防火クラブ	出雲市天神町	平成17年	59	
計 18団体 652名				
合計 70団体 4,943名				

●防火対象物数

令別表項目別		市 町 別	総 数	出雲市	斐川町
合 計			5,939	5,035	904
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	5	5	
	ロ	公会堂・集会場	133	118	15
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブの類	2	2	
	ロ	遊技場・ダンスホール	28	25	3
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等	0		
3	イ	待合・料理店の類	32	31	1
	ロ	飲食店	168	144	24
4		百貨店・マーケット・物品販売店等	325	278	47
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	135	108	27
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	1,400	1,263	137
6	イ	病院・診療所・助産所	161	141	20
	ロ	老人・救護・児童等社会福祉施設	180	155	25
	ハ	幼稚園・盲・聾・養護学校	44	39	5
7		小・中・高等学校・大学・各種学校の類	200	182	18
8		図書館・博物館・美術館	21	19	2
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	0		
	ロ	イ以外の公衆浴場	4	4	
10		車両の停車場・船舶・航空機発着場	2	1	1
11		神社・寺院・教会の類	51	48	3
12	イ	工場・作業場	989	757	232
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	1	1	
13	イ	自動車車庫・駐車場	79	65	14
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	2		2
14		倉庫	809	614	195
15		前各項に該当しない事業場	704	608	96
16	イ	令別表1～4. 5イ. 6. 9イ. の用途に供する部分のある複合用途対象物	323	305	18
	ロ	イ以外の複合用途対象物	130	113	17
17		文化財・重要文化財	7	5	2
18		50メートル以上のアーケード	4	4	

●一般予防関係事務処理件数

平成17年度(2005)中

	消 防 用 設 備 等 着 工 届 出 書																			
	合 計	屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	泡消火設備	二酸化炭素消火設備	ハロゲン化物消火設備	粉末消火設備	屋外消火栓設備	動力消防ポンプ設備	自動火災報知設備	漏電火災警報器	火災報知設備	非常警報設備(ベル)	非常警報設備(放送)	避難設備(器具)	避難設備(誘導灯)	消 防 用 水	排 煙 設 備	連結送水管設備	非常コンセント
計	288	18	3	1	0	0	2	3	0	110	4	9	28	19	14	70	0	0	6	1
出雲市	256	16	2				1	3		99	4	6	25	17	14	63			5	1
斐川町	32	2	1	1			1			11		3	3	2		7			1	

平成17年度(2005)中

	消 防 用 設 備 等 設 置 届 出 書																						
	合 計	消 火 器 具	屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	泡消火設備	二酸化炭素消火設備	ハロゲン化物消火設備	粉末消火設備	屋外消火栓設備	動力消防ポンプ設備	自動火災報知設備	漏電火災警報器	火災報知設備	非常警報器具	非常警報設備(ベル)	非常警報設備(放送)	避難設備(器具)	避難設備(誘導灯)	避難設備(標識)	消 防 用 水	排 煙 設 備	連結送水管設備	非常コンセント
計	530	140	25	8	2	0	0	1	5	0	161	5	15	0	27	24	20	74	15	0	0	7	1
出雲市	477	126	24	7	1			1	5		143	5	12		23	22	20	67	14			6	1
斐川町	53	14	1	1	1						18		3		4	2		7	1			1	

平成17年度(2005)中

	そ の 他 届 出 書																		
	合 計	防火管理者選解任届	消 防 計 画	消防設備等点検結果報告書	防火対象物使用開始届	避難訓練の指導	貯蔵 届	圧縮アセチレンガス等設置 届	変電・発電・蓄電池設置 届	ボイラー等設置届	煙火打ち上げ届	水素ガス気球設置届	催しもの開催届	火災とまぎらわしい煙又は火災を発する行為	禁止行為の解除承認	少量危険物貯蔵・取扱届	少量危険物貯蔵・取扱廃止届	ネオン管灯設備設置届	指定可燃物貯蔵・取扱
計	3,587	292	423	1,194	248	565	67	62	28	109	0	11	456	73	37	18	2	2	0
出雲市	3,140	253	359	993	214	501	59	59	21	99		11	452	72	28	15	2	2	
斐川町	447	39	64	201	34	64	8	3	7	10			4	1	9	3			

●中高層建物の状況

用途別 階数	4 項 店 舗	5 項イ 旅 館 ホテル	5 項ロ 共 同 住 宅	6 項イ 病 院	7 項 学 校	12項イ 工 場	15 項 その他の 事業所	16 項 複 合 用 途	その他	計
3階	15	9	160	12	59	26	89	87	41	498
4階	1	8	108	6	22	5	23	20	9	202
5階		3	19	1	2		6	5	3	39
6階		1	9	1	2	2	2	1	1	19
7階		1	3	2			4	4		14
8～9階		1	5	1	1	3		1		12
10階以上		4	10	1						15
計	16	27	314	24	86	36	124	118	54	799



屋内消火栓の部

消火技術訓練大会 (管内事業所対象)



消火器の部

●危険物製造所等施設数

平成17年度(2005)中

製造所等の別		市 町 別		
		合 計	出 雲 市	斐 川 町
合 計		793	666	127
製 造 所		3	3	
貯 蔵 所	小 計	502	422	80
	屋 内 貯 蔵 所	72	59	13
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	102	90	12
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	10	8	2
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	221	183	38
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	7	7	
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	80	67	13
	屋 外 貯 蔵 所	10	8	2
取 扱 所	小 計	288	241	47
	給 油 取 扱 所	172	144	28
	第 一 種 販 売 取 扱 所	0		
	第 二 種 販 売 取 扱 所	0		
	移 送 取 扱 所	9	9	
	一 般 取 扱 所	107	88	19
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 所		1,806	1,458	348

●貯蔵取扱数量別危険物施設数

平成17年度(2005)中

製造所等の別		計	最大数量が指定数量の							
			5倍以下	5倍を超え10倍以下	10倍を超え50倍以下	50倍を超え100倍以下	100倍を超え150倍以下	150倍を超え200倍以下	200倍を超え1000倍以下	1000倍を超えるもの
合計		793	365	154	152	48	22	28	24	0
製造所		3		1	2					
貯蔵所	小計	502	285	102	87	20	2	1	5	
	屋内貯蔵所	72	41	14	13	4				
	屋外タンク貯蔵所	102	27	29	40	5		1		
	屋内タンク貯蔵所	10	8	2						
	地下タンク貯蔵所	221	128	50	27	9	2		5	
	簡易タンク貯蔵所	7	7							
	移動タンク貯蔵所	80	71	2	5	2				
	屋外貯蔵所	10	3	5	2					
取扱所	小計	288	80	51	63	28	20	27	19	
	給油取扱所	172	18	22	43	24	19	27	19	
	第一種販売取扱所	0								
	第二種販売取扱所	0								
	移送取扱所	9	4	4	1					
	一般取扱所	107	58	25	19	4	1			

●危険物関係事務処理件数

平成17年度(2005)中

区 分		所 属 別		合 計	出 雲 市	斐 川 町
		設 置	変 更			
許 可		設 置		14	12	2
		変 更		45	33	12
可	常置場所の 変 更	他 許 可 行 政 庁 に 転 出		0		
		他 許 可 行 政 庁 か ら 転 入		1	1	
完 成 検 査		設 置		18	16	2
		変 更		44	32	12
		他 許 可 行 政 庁 か ら 転 入		0		
廃 止 届				39	37	2
		完 成 検 査 前 に 設 置 許 可 の 取 り 消 し 処 分		0		
		完 成 検 査 前 検 査 (タ ン ク 検 査)		0		
		休 止 届		7	7	
		変 更 届		94	83	11
		譲 渡 引 渡 届		11	5	6
		仮 使 用 承 認		22	14	8
		仮 貯 蔵 承 認		1	1	
		仮 取 扱 承 認		0		
		保 安 監 督 者 選 解 任 届		27	27	

●火薬類・高圧ガス・液化石油ガス関係事務処理件数

1. 火薬類取締法関係

平成17年度(2005)中

	区 分	件 数		計
		出 雲 市	斐 川 町	
許 可	讓 渡 許 可	5		5
	讓 受 許 可	3		3
	讓 受 ・ 消 費 許 可	32	4	36
	消 費 許 可 (煙 火)	31	3	34
可	消 費 許 可			0
	廃 棄 許 可			0
	計	71	7	78

2. 高圧ガス保安法関係

平成17年度(2005)中

	区 分	件 数		計
		出 雲 市	斐 川 町	
許 可 ・ 完 成 ・ 保 安 検 査	製 造 (変 更) 許 可	3		4
	貯 蔵 所 設 置 (変 更) 許 可			
	充 て ん 設 備 (変 更) 許 可	1		
	製 造 施 設 完 成 ・ 保 安 検 査	5	1	6
	貯 蔵 所 完 成 検 査			3
	充 て ん 設 備 完 成 ・ 保 安 検 査	3		
新 規 ・ 変 更 等 届	高 圧 ガ ス 製 造 事 業 (軽 微 変 更 ・ 変 更) 届	3		24
	高 圧 ガ ス 貯 蔵 所 設 置 (軽 微 変 更 ・ 変 更) 届			
	特 定 高 圧 ガ ス 消 費 (変 更) 届			
	危 害 予 防 (変 更) 届	3		
	高 圧 ガ ス 販 売 事 業 (ガ ス 種 変 更) 届			
	高 圧 ガ ス 製 造 販 売 貯 蔵 消 費 承 継 届	3		
	高 圧 ガ ス 製 造 販 売 貯 蔵 消 費 (休 止) 廃 止 届	4		
	事 故 届			
充 て ん 設 備 軽 微 変 更 届 (液 石 法)	11			
	計	36	1	37

3. 液化石油ガス法関係

平成17年度(2005)中

処 理 内 容	件 数	
	出 雲 市	斐 川 町
液 化 石 油 ガ ス 設 備 工 事 届	9	3



警防編

火災統計

●火災の概要

区分 月別	火災件数(件)							焼損棟数(棟)				焼損面積(m ²)(a)		死傷者(人)		
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物床面積	林野	死者	負傷者
H13年(2001)	72	40	1	8	0	0	23	70	29	4	17	20	4,007	3	1	22
H14年(2002)	77	47	5	5	0	0	20	74	23	6	22	23	3,211	19	7	13
H15年(2003)	80	47	0	12	0	0	21	87	33	5	29	20	5,092	3	3	15
H16年(2004)	82	44	8	4	0	0	26	66	24	3	16	23	3,597	64	2	19
H17年(2005)	64	30	5	6	0	0	23	40	13	3	14	10	1,876	43	3	6
1月	2	2						2	1		1		62			
2月	5	3	1				1	5	3		2		99			1
3月	5	4					1	5	1		2	2	131			
4月	8	1	1				6	1		1			460			
5月	8	4		1			3	7	4		1	2	558			
6月	11	3	2	1			5	3			2	1	64	38		1
7月	3	1					2	1				1			1	1
8月	3			1			2	0								
9月	6	1	1	2			2	1				1		5		2
10月	2	2						2		1	1		73			
11月	5	4		1				5	2		3		129		1	1
12月	6	5					1	8	2	1	2	3	300		1	
出雲市	58	27	4	6			21	37	13	3	13	8	1,851	43	3	5
斐川町	6	3	1				2	3			1	2	25			1

※合併前(平成17年3月21日以前)の数値は、出雲市外4町広域消防組合、平田市消防本部、大社町消防本部の合算数値。

り災世帯 (世帯)				り 災 人 員	損 害 額 (千円)									
計	全 損	半 損	小 損		合 計	建 物			林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	爆 発
						小 計	建 築 物	収 容 物						
59	19	11	29	158	238,052	230,168	170,758	59,410	0	6,510	0	0	1,328	46
51	15	5	31	162	181,708	168,259	111,979	56,280	10	12,866	0	0	573	0
53	17	7	29	144	389,684	380,431	275,946	104,485	0	8,208	0	0	1,045	0
43	14	3	26	107	181,015	176,841	136,011	40,830	0	2,370	0	0	1,804	0
20	8	2	10	62	99,192	98,339	78,741	19,598	0	773	0	0	80	0
0					1,199	1,198	77	1,121					1	
3	1		2	12	3,521	3,521	2,916	605						
2	1		1	8	10,832	10,832	9,951	881						
0					17,794	17,794	9,299	8,495						
6	3		3	15	24,978	24,518	21,615	2,903		460				
1			1	2	891	684	612	72		178			29	
0					0	0								
0					50	0							50	
0					90	3		3		87				
1		1		5	4,283	4,283	3,438	845						
3	1		2	8	12,641	12,593	10,282	2,311		48				
4	2	1	1	12	22,913	22,913	20,551	2,362						
19	8	2	9	60	98,878	98,025	78,677	19,348		773			80	
1			1	2	314	314	64	250						

●消防本部・本署・各署の出場状況

	回数人員	本部・本署	西部分署	南部分署	斐川出張所	平田消防署	大社消防署	計
火 災	出場回数	32	5	3	6	8	10	64
	人 員	518	36	21	29	62	72	738
救 急	出場回数	2,301	345	202	742	766	512	4,868
	人 員	6,900	1,035	606	2,226	2,286	1,538	14,591
救 助	出場回数	55	9	4	24	24	14	130
	人 員	487	14	2	44	63	73	683
風 水 害	出場回数	2	3	1				6
	人 員	9	6	3				18
演習・訓練	出場回数	1,658	155	53	97	351	5	2,319
	人 員	6,993	640	208	403	1,636	31	9,911
広報指導	出場回数	72	18	11	46	10	50	207
	人 員	235	75	561	197	20	163	1,251
警防調査	出場回数	254	79	116	6	75	73	603
	人 員	861	316	360	22	249	257	2,065
原因調査	出場回数	32	5	3	6	8	10	64
	人 員	139	22	10	29	27	54	281
特別警戒	出場回数	14	18	7	19	8	3	69
	人 員	36	21	9	25	23	10	124
遭 難	出場回数		1					1
	人 員	9	4					13
予防査察	出場回数	153	36	25	49	54	25	342
	人 員	329	143	75	190	161	77	975
そ の 他	出場回数	89	15	8	33	20	18	183
	人 員	454	36	22	110	87	85	794
誤 報 いたす	出場回数	23	1	1	4	4		33
	人 員	156	4	10	15	33		218
計	出場回数	4,685	690	434	1,032	1,328	720	8,889
	人 員	17,126	2,352	1,887	3,290	4,647	2,360	31,662

●建物用途別損害状況 平成17年(2005)中

区分 用途別	出火 件数	焼損 棟数	り災 世帯	り災 人員	建物焼損 床面積(m ²)	損害額 (千円)
住 宅	9	13	10	33	517	41,152
学 校	3	3				350
共同住宅	2	2	4	11	58	8,887
店 舗	2	2				40
工 場	2	2			62	1,659
倉 庫	2	3	1	2	67	1,712
物 置	1	3	1	6	96	3,193
寄 宿 舎	1	1	1	4	52	7,555
納 屋	1	1	1	2	2	7
店舗併用住宅	1	1	1	2		103
飲食店舗	1	1				85
作 業 場	1	1			460	17,794
車 庫	1	1				41
庫 裡	1	4	1	2	500	15,627
休 憩 所	1	1				3
農業用物置	1	1			62	131
計	30	40	20	62	1,876	98,339

●出火原因別火災件数・損害額 平成17年(2005)中

原因別	出火件数	出雲市	斐川町	損害額 (千円)
た き 火	9	6	3	225
た ば こ	6	6		95
火 入 れ	5	5		50
放 火 の 疑 い	4	4		299
ス ト ー ブ	3	3		2,787
配 線 器 具	3	3		578
火 遊 び	3	3		118
放 火	3	2	1	52
溶接機・切断機	2	2		132
こ た つ	1	1		3,293
電灯・電話等の配線	1	1		3,193
そ の 他	11	10	1	16,601
不 明	13	12	1	71,769
計	64	58	6	99,192

●曜日別・時間別火災発生状況

平成17年(2005)中

曜日 時間	日	月	火	水	木	金	土	不明	合計
0 ~ 2			1						1
2 ~ 4									0
4 ~ 6			1						1
6 ~ 8					2	2			4
8 ~ 10		3	1	1	2	2	1		10
10 ~ 12		6	3	1	4	2			16
12 ~ 14			2	1	3	1			7
14 ~ 16	1		2	1	1	1	1		7
16 ~ 18	2		3		2		2		9
18 ~ 20			2		2				4
20 ~ 22		1	1				1		3
22 ~ 24		1							1
不 明								1	1
計	3	11	16	4	16	8	5	1	64

救 急 統 計

●救急の概要

月 別	区 分	出場件数	搬送人員	救 急 事 故 種 別 (件 数)				
				火 災	自然災害	水 難	交 通	労働災害
平成13年 (2001)		4,035	3,969	13	0	8	766	63
平成14年 (2002)		4,215	4,143	12	1	6	811	52
平成15年 (2003)		4,673	4,582	12	0	8	757	75
平成16年 (2004)		4,695	4,501	14	0	6	729	65
平成17年 (2005)		4,868	4,752	4	0	13	745	61
1 月		434	414				41	5
2 月		434	416	1			56	6
3 月		458	435			2	64	10
4 月		375	368				55	4
5 月		346	340			1	52	7
6 月		336	337			2	65	2
7 月		419	411	1		2	71	5
8 月		408	395				64	6
9 月		381	372	1		3	58	2
10 月		424	415			1	68	3
11 月		407	412			1	82	5
12 月		446	437	1		1	69	6
出 雲 市		4,064	3,946	3		13	588	49
斐 川 町		803	805	1			156	12
管 外		1	1				1	

※合併前(平成17年3月21日以前)の数値は、出雲市外4町広域消防組合、平田市消防本部、大社町消防本部の合算数値。

救 急 事 故 種 別 (件 数)						出場件数 一日平均	搬送人員 一日平均
運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他		
42	482	12	63	2,173	413	11.05	10.87
38	506	20	68	2,374	327	11.55	11.35
62	526	18	76	2,725	414	12.80	12.55
73	540	27	64	2,717	460	12.83	12.30
69	568	13	66	2,879	450	13.34	13.02
5	50	2	3	286	42	14.00	13.35
1	42	2	5	271	50	15.50	14.86
3	52	1	3	278	45	14.77	14.03
5	54	2	6	216	33	12.50	12.27
7	38		5	205	31	11.16	10.97
5	38		7	182	35	11.20	11.23
12	47	2	12	238	29	13.52	13.26
11	50	3	6	227	41	13.16	12.74
6	47		3	227	34	12.70	12.40
9	51		8	246	38	13.68	13.39
3	47	1	6	219	43	13.57	13.73
2	52		2	284	29	14.39	14.10
65	491	13	65	2,441	336	11.13	10.81
4	77		1	438	114	2.20	2.21
						0.00	0.00

●傷病者年齢区分別搬送人員

平成17年(2005)中

年齢区分 \ 事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児 (生後28日以内)							1			1	2	4
乳幼児 (生後29日以上満7歳未満)			1	33			42			127	6	209
少年 (満7才以上満18歳未満)				89		46	28	1		57	3	224
成人 (満18才以上満65歳未満)	1		7	568	48	22	131	10	37	853	116	1,793
老人 (満65才以上)	2		1	190	11		343	3	11	1,693	268	2,522
計	3	0	9	880	59	68	545	14	48	2,731	395	4,752

●傷病程度別搬送人員

平成17年(2005)中

傷病程度 \ 事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計	比率(%)
死亡			2	7			6		6	82	2	105	2.2
重症	1		3	28	1		31		10	261	74	409	8.6
中等症	1		3	164	34	15	205	4	24	1,127	262	1,839	38.7
軽症	1		1	681	24	53	303	10	8	1,261	57	2,399	50.5
その他												0	0.0
計	3	0	9	880	59	68	545	14	48	2,731	395	4,752	100.0

●救急隊員の行った応急処置件数

事故種別 応急処置	合計	急病	交通	一般負傷	その他
応急措置対象人員	4,659	2,704	827	537	591
止血	93	9	18	52	14
固定	1,054	63	656	223	112
人工呼吸	98	74	9	4	11
心臓マッサージ	0				
※うち自動	0				
心肺蘇生	173	129	11	14	19
※うち自動	1	1			
酸素吸入	2,213	1,575	190	129	319
気道確保	370	276	20	33	41
※経鼻エアウェイ	29	26		2	1
※咽頭鏡・鉗子等	50	34	2	11	3
※コンビチューブ	123	93	3	12	15
保温	145	65	32	22	26
被覆	299	11	117	138	33
在宅療法継続	17	15		2	
※①化学療法の点滴	0				
※②人工肛門等の外瘻	7	7			
※①②以外の措置	11	9		2	
ショックパンツ	2			2	
除細動	22	18	1		3
静脈路確保	88	66	4	10	8
その他の応急措置	1,677	1,285	51	127	214
血圧測定	4,246	2,485	730	480	551
聴診器による聴取	1,514	971	271	100	172
血中酸素飽和度測定	4,418	2,580	770	505	563
心電図	1,849	1,490	60	81	218
※うち伝送	0				
気管挿管	3	3			
合計	18,281	11,115	2,940	1,922	2,304

○※印欄(うち数)は合計に計上しない。

○一人に複数の応急措置を実施することがある為、合計と応急処置対象数とは一致しない。

●救急隊員生涯教育実施状況(ワークステーション)

平成17年(2005)中

年 別	件数等		研修隊員総数	出場件数	うち医師同乗件数	※研修期間 5日間(休日を除く月曜日から金曜日) 午前8時30分～午後5時15分
	年間実施週数					
平成16年以前	99		270	385	160	
平成17年	37		50	157	46	
計	136		320	542	206	

(注) 救急隊員生涯教育は、平成12年12月に発足し、出雲地区救急業務連絡協議会構成4消防本部から3名の救急隊員を救急指定病院に派遣し、救急隊員の生涯教育を実施するとともに、重症度の高い救急事案については医師同乗のうえ現場出場することにより、救急隊員のレベルアップと、プレホスピタルケア(病院前)からホスピタルケア(病院)への連続性のある医療の充実を目指し、救命率の向上を図ることを目的として行っています。

●応急手当普及啓発活動状況

(1)住民に対する応急手当普及啓発活動状況

平成17年(2005)中

年 別	区 分	普通救命講習		上級救命講習		応急手当普及員		その他の講習		計	
		回 数	受講人員	回 数	受講人員	回 数	受講人員	回 数	受講人員	回 数	受講人員
平成13年以前		388	8,766	16	348	3	82	542	29,475	949	38,671
平成14年以前		68	1,560	4	90	2	58	120	5,103	194	6,811
平成15年以前		83	1,896	4	58	4	63	131	4,501	222	6,518
平成16年以前		91	2,103	5	150	1	27	114	3,990	211	6,180
平成17年		79	1,695	4	95	0	0	146	4,675	229	6,465
計		709	16,020	33	741	10	230	1,053	47,744	1,805	64,645

(2)応急手当指導員講習修了者

平成17年(2005)中

年 別	区 分	講習Ⅰ修了者	講習Ⅱ修了者	講習Ⅲ修了者	計
平成16年以前		183			183
平成17年		12			12
計		195	0	0	195

(注) 講習Ⅰ：救急救命士又は救急隊員、消防機関在職中に救急隊員の資格を有していたもので8時間の講習を終了したもの。

(注) 講習Ⅱ：上記以外の消防職員(応急手当の普及業務に関し、消防職員と同等以上の知識及び技能を有すると署長が認めたもの)又は消防職員であった者で、24時間の講習を終了したもの。

(注) 講習Ⅲ：応急手当普及員の資格を有する者で、16時間の講習を終了したもの。

●救助の概要

件数・種別等		年別				
		H13年 (2001)	H14年 (2002)	H15年 (2003)	H16年 (2004)	H17年 (2005)
出 場 件 数		140	133	132	140	173
活 動 件 数		63	45	43	52	59
救 助 人 員		84	54	53	52	69
災 害 種 別 (件 数)	火 災	48	42	42	46	31
	交 通 事 故	59	63	63	57	88
	水 難 事 故	3	1	1	6	10
	風水害等自然災害			1		
	機械による事故	2	4	4	2	4
	建物等による事故	1	3	2	1	1
	ガス及び酸欠事故			1		
	爆 発 事 故					
	その他の事故	27	20	18	28	39

※合併前(平成17年3月21日以前)の数値は、出雲市外4町広域消防組合、平田市消防本部、大社町消防本部の合算数値。

消防機械器具の現況

●消防車両の配備

所 属 車 種	計	消 出 防 雲 本 消 部 防 署 署 ・ (本署)	平 田 消 防 署	大 社 消 防 署	西 部 分 署	南 部 分 署	斐 川 出 張 所
計	59	25	14	10	3	4	3
消防ポンプ自動車	8	2	2	2	1	1	
水槽付消防ポンプ 自 動 車	5	2	1	1			1
化学消防ポンプ 自 動 車	1	1					
はしご自動車	1	1					
救助工作車	4	2	1	1			
小型ポンプ積載車	4			1	1	1	1
緊急消防自動二輪車	3	3					
高規格救急車	9	2	2	2	1	1	1
救急自動車	3	1	1			1	
指 令 車	5	2	1	2			
広報車・査察車	6	3	2	1			
水防防災車	3	1	2				
マイクロバス	1	1					
消火・通報訓練指導車	1		1				
その他の車両	5	4	1				

●特殊器具一覧表

機 器 区 分		数量	機 器 区 分		数量	
救 助 用 器 具	かぎ付梯子	13	隊 員 保 護 器 具	空気呼吸器 (8型)	65	
	二連梯子	11		酸素呼吸器 (10型)	10	
	三連梯子	7		簡易呼吸器	3	
	折りたたみ梯子	2		防毒マスク	22	
	空気式救助マット	3		耐電ズボ	15	
	救命索発射銃	10		耐電手袋	11	
	緩降機	5		耐電長靴	21	
	マット式空気ジャッキ	10		耐電熱防護服	10	
	油圧電動ポンプ	1		耐陽圧式化学防護服	6	
	油圧エンジンポンプ	3		携帯警報機	3	
	油圧フートポンプ	6	防塵マスク	10		
	油圧ハンドポンプ	1	防塵メガネ	201		
	油圧スプレッター	4	消 火 器 具	高・低発泡器	1	
	油圧カッター	4		ピックアップ式泡ノズル	13	
	油圧ペダルカッター	3		ジェットシューター	65	
	油圧プランジャーラム	4		林野火災用マルチポイント	5	
	油圧コンピューター	5		小型動力ポンプ	9	
	スパカッター	3		組み立て式水槽	6	
	エンジンカッター	8		可搬式放水銃	2	
	電動カッター	1		測 定 器	複合ガス測定器	8
	ガス溶断器	4			可燃性ガス測定器	5
	電気溶接機	0			酸素濃度測定器	5
	空気溶接機	6	有毒ガス測定器		1	
	チエンソール	17	放射線測定器		1	
	ハンマードリル	2	救 急 器 具	酸素吸入器	13	
	可搬ウインチ	7		電池式吸引機	17	
	チエンバースト機	1		スクープストレッチャー	16	
発動発電機	16	防振ストレッチャー		12		
削岩機	4	喉頭鏡鉗子セット		12		
バスケット型担架	3	耐振動血圧計		16		
送排風機	2	患者監視モニター		13		
救助用三脚	3	自動人口呼吸器		11		
ストライカー	5	除細動器		16		
山岳救助用ウインチ	1	自動心臓マッサージ器		8		
マンホール救助器	2	シヨックパンツ		16		
救助用工具セット	1	KED (救出器具)		13		
簡易画像探索機	1	心電図伝送装置		7		
水難救助器具	救命胴衣	95	バックボード	21		
	救命ボート	33	携帯心電計	13		
	救命ボート	5	在宅医療処置セット	7		
	救命ボート	3	多目的副子	16		
	救命ボート	6				
	救命ボート	6				

●消防車両の装備

【消防本部・出雲消防署 本署】

区分 車両名	メーカー名	型式(年式)	馬力及び放水能力	無線局 呼出名称
1号車 (ポンプ車)	いすず	KC-NKR71GN (H10年式)	130PS 2,282ℓ/min	いすも1
2号車 (ポンプ車)	いすず	U-NKR66N改 (H7年式)	130PS 2,110ℓ/min	いすも2
3号車 (タンク車)	三菱ふそう	U-FK681EW改 (H7年式)	210PS 2,620ℓ/min	いすも3
4号車 (タンク車)	日産	KK-LK26A改 (H15年式)	225PS 2,160ℓ/min	いすも4
化学車	三菱ふそう	U-FM618H改 化Ⅲ型(H5年式)	210PS 2,600ℓ/min	いすも かがく
梯子車	三菱ふそう	KC-FU519NY改 35メートル(H11年式)	355PS	いすも はしご
救助工作1号車	日野	KK-CX1JGDA改 (H12年式)	220PS (4WD)	いすも こうさく1
救助工作2号車	三菱ふそう	P-FK416FZ改 Ⅱ型(S60年式)	175PS	いすも こうさく2
救急1号車 (高規格救急車)	トヨタ	GE-VCH32S (H13年式)	180PS	いすも きゅうきゅう1
救急2号車 (高規格救急車)	日産	KC-APR71LV改 (H8年式)	140PS	いすも きゅうきゅう2
救急3号車	トヨタ	GA-RZH133S (H10年式)	120PS	いすも きゅうきゅう3
指令1号車	トヨタ	TC-VCH28S (H16年式)	180PS (4WD)	いすも しれい1
指令2号車	三菱	E-C12W改 (H3年式)	85PS	いすも しれい2
緊急消防自動二輪車 (赤バイ3台)	ヤマハ	BA-DG08J (H13年式)	20PS	
広報車	トヨタ	T-RZH112V改 (H2年式)	92PS	いすも こうほう1
総務1号車	日産	GF-HC35 (H14年式)	155PS	いすも そうむ1
総務2号車	スバル	V-KW3 (H10年式)	42PS	
警防1号車	三菱	T-P23V改 (H2年式)	91PS (4WD)	
警防2号車	三菱	E-CB2W (H7年式)	91PS	
査察2号車	トヨタ	DAA-NHW20 (H16年式)	エンジン 77PS モーター 68PS	
広報2号車	トヨタ	GK-KR52V (H17年式)	82PS	
防災1号車	日野	KK-RX4JFEA (H13年式)	175PS	いすも ぼうさい1
水防防災車	日産	KC-P8F23改 (H7年式)	85PS (4WD)	いすも ぼうさい2

【出雲消防署西部分署】

区分 車両名	メーカー名	型式(年式)	馬力及び放水能力	無線局 呼出名称
消防車 (ポンプ車)	三菱	KC-FG538C改 (H7年式)	130PS 2,110ℓ/min(4WD)	せいぶ1
救急車 (高規格救急車)	トヨタ	TC-VCH32S (H15年式)	180PS (4WD)	せいぶ きゅうきゅう
小型動力 ポンプ積載車	日産	KG-SK22MN (H15年式)	79PS (4WD)	せいぶ2

【出雲消防署南部分署】

区分 車両名	メーカー名	型式(年式)	馬力及び放水能力	無線局 呼出名称
消防車 (ポンプ車)	三菱	KK-FG53ED (H12年式)	155PS 2,230ℓ/min(4WD)	なんぶ1
救急車 (高規格救急車)	日産	TC-FPWGE50改 (H16年式)	240PS (4WD)	なんぶ きゅうきゅう
救急4号車	トヨタ	KC-KZH138S (H8年式)	130PS (4WD)	いすも きゅうきゅう4
小型動力 ポンプ積載車	スズキ	V-DF51V改 (H8年式)	42PS (4WD)	なんぶ2

【出雲消防署斐川出張所】

区分 車両名	メーカー名	型式(年式)	馬力及び放水能力	無線局 呼出名称
消防車 (タンク車)	いすず	KC-FRR33D4V改 (H10年式)	210PS 3,016ℓ/min	とうぶ1
救急車 (高規格救急車)	トヨタ	TC-VCH32S (H14年式)	180PS	とうぶ きゅうきゅう
小型動力 ポンプ積載車	日産	KG-SK22MN (H11年式)	79PS (4WD)	とうぶ2

【平田消防署】

区分 車両名	メーカー名	型式(年式)	馬力及び放水能力	無線局 呼出名称
1号車 (ポンプ車)	三菱	KC-FG538D (H10年式)	140PS 2,170ℓ/min	ひらた1
2号車 (ポンプ車)	日産	T-FGY60改 (H2年式)	160PS 2,906ℓ/min	ひらた2
4号車 (タンク車)	日産	KK-LK262EH改 (H13年式)	225PS 2,419ℓ/min	ひらた4
救助工作車	日野	U-GD3HGAA改 (H4年式)	205PS	ひらた こうさく
救急1号車 (高規格救急車)	トヨタ	GB-VCH38S (H10年式)	180PS	ひらた きゅうきゅう1
救急2号車 (高規格救急車)	トヨタ	TC-VCH38S (H17年式)	180PS	ひらた きゅうきゅう2
救急3号車	日産	GE-CQGE24改 (H12年式)	166PS	ひらた きゅうきゅう3
指令車	マツダ	GF-GW8W (H11年式)	120PS	ひらた しれい
広報1号車	トヨタ	T-RZH112V改 (H4年式)	110PS	ひらた こうほう1
広報2号車	トヨタ	E-ST190 (H5年式)	125PS	ひらた こうほう2
防災1号車	スズキ	E-JA22W (H10年式)	64PS	ひらた ぼうさい1
防災2号車	三菱	KK-FE52CE (H12年式)	125PS	ひらた ぼうさい2
消火・通報訓練指導車	マツダ	TC-SYE4T (H16年式)	100PS	
自動二輪車	ヤマハ	2JL (H11年式)	16PS	

【大社消防署】

区分 車両名	メーカー名	型式(年式)	馬力及び放水能力	無線局 呼出名称
1号車 (ポンプ車)	三菱ふそう	KC-FE538B改 (H9年式)	140PS 2,370ℓ/min	たいしゃ1
2号車 (ポンプ車)	三菱ふそう	U-FG337C改 (H5年式)	115PS 2,130ℓ/min(4WD)	たいしゃ2
4号車 (タンク車)	日産	KK-MK252BH (H11年式)	206PS 3,010ℓ/min	たいしゃ4
救助工作車	三菱ふそう	KK-FK61HGX (H12年式)	165PS	たいしゃ こうさく
救急1号車 (高規格救急車)	いすゞ	KC-NPR71LV改 (H8年式)	140PS	たいしゃ きゅうきゅう1
救急2号車 (高規格救急車)	日産	GE-FLWGE50 (H13年式)	170PS (4WD)	たいしゃ きゅうきゅう2
資器材搬送車 (兼・指令1号車)	トヨタ	T-RZH133S (H4年式)	120PS	たいしゃ しれい1
指令2号車	日産	GF-LR50 (H13年式)	170PS	たいしゃ しれい2
積載車	三菱	M-U19V改 (H2年式)	48PS	たいしゃ せきさい
広報車	日産	CBE-VY11 (H17年式)	90PS	たいしゃ こうほう

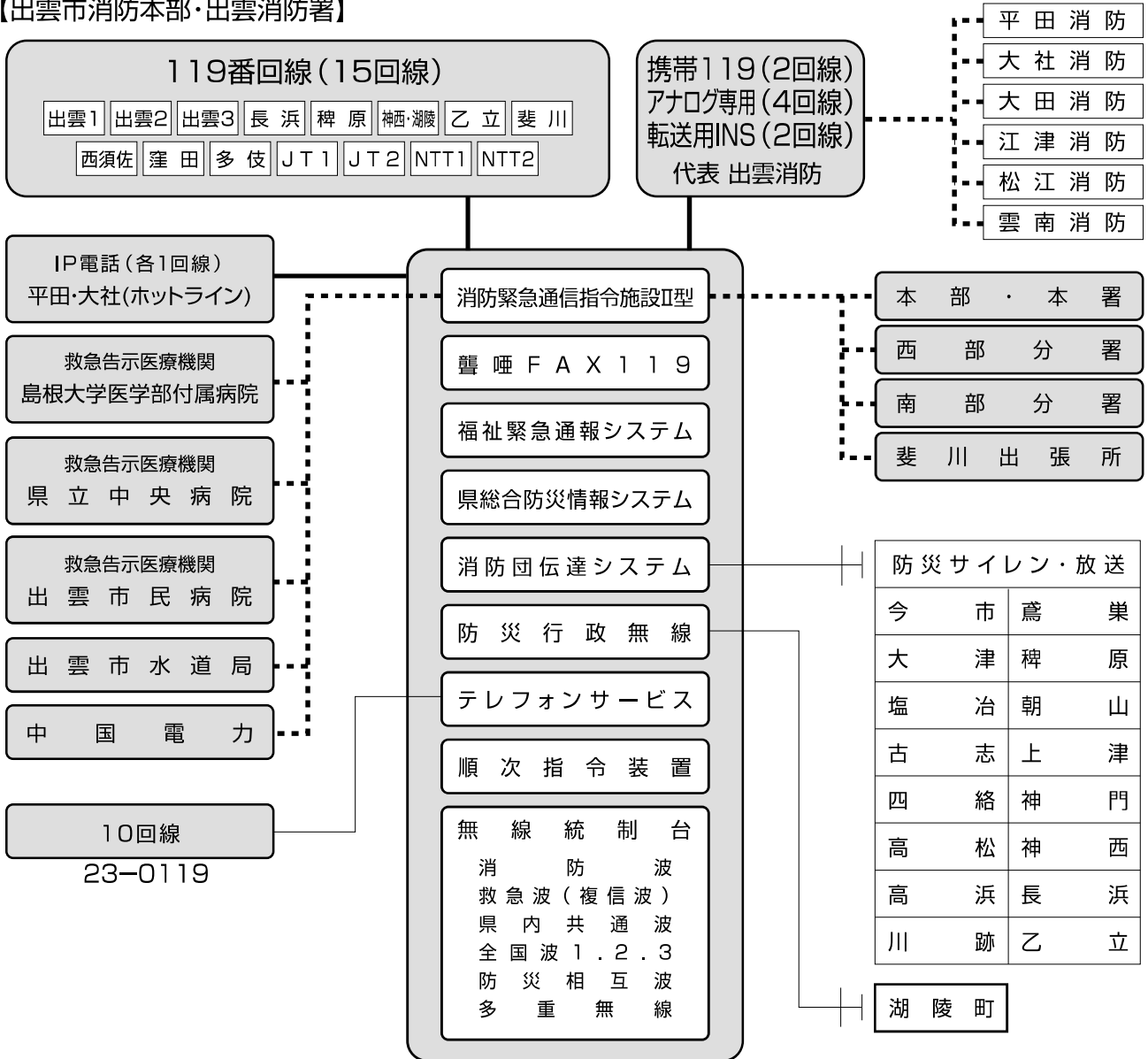
●消防水利施設数

区分		市町別		総計	出雲市					斐川町		
		計	出雲		佐田	多伎	湖陵	平田	大社			
計				3,441	2,803	1,183	161	178	164	635	482	638
消 火 栓	φ 200 以上			301	198	144		5	7	18	24	103
	φ 150 以上 φ 200 未満			483	334	185	1	16	10	65	57	149
	φ 100 以上 φ 150 未満			887	711	442	15	15	29	92	118	176
	φ 75 以上 φ 100 未満			628	486	104	49	70	16	117	130	142
	φ 75 未満			85	71	3	3	17	16	17	15	14
	計			2,384	1,800	878	68	123	78	309	344	584
防 火 水 槽	公 設	40m ³ 以上		427	393	148	35	39	73	44	54	34
		20~40m ³		375	360	9	54	5	4	234	54	15
		20m ³ 未満		56	56		1	6		30	19	
	計			858	809	157	90	50	77	308	127	49
私 設	40m ³ 以上		35	35	24		2		3	6		
	20~40m ³		112	112	102		1	6	2	1		
	20m ³ 未満		1	1					1			
計			148	148	126	0	3	6	6	7	0	
プー ル			51	46	22	3	2	3	12	4	5	

消 防 通 信

●消防通信施設状況 出雲局 (0853)

【出雲市消防本部・出雲消防署】



いずもほんぶ	
基地局	10W
固定局	10W
多重無線 0.004W	
移動局	
10W局	17局
携帯局	
10W局	1局
5W局	14局
1W局	19局

せいぶ	
基地局	10W
固定局	10W
移動局	
10W局	3局
携帯局	
5W局	4局
1W局	1局

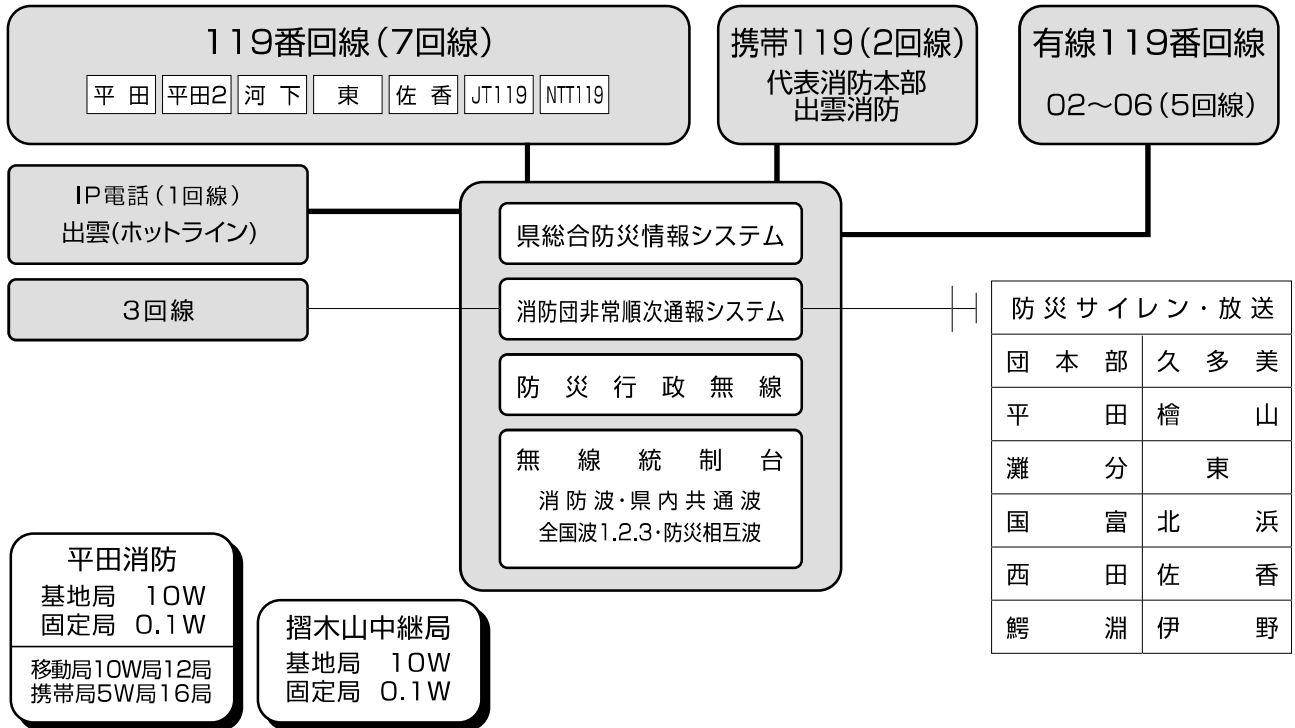
なんぶ	
基地局	10W
固定局	10W
移動局	
10W局	4局
携帯局	
5W局	4局
1W局	1局

とうぶ	
基地局	10W
固定局	10W
移動局	
10W局	3局
携帯局	
5W局	5局
1W局	2局

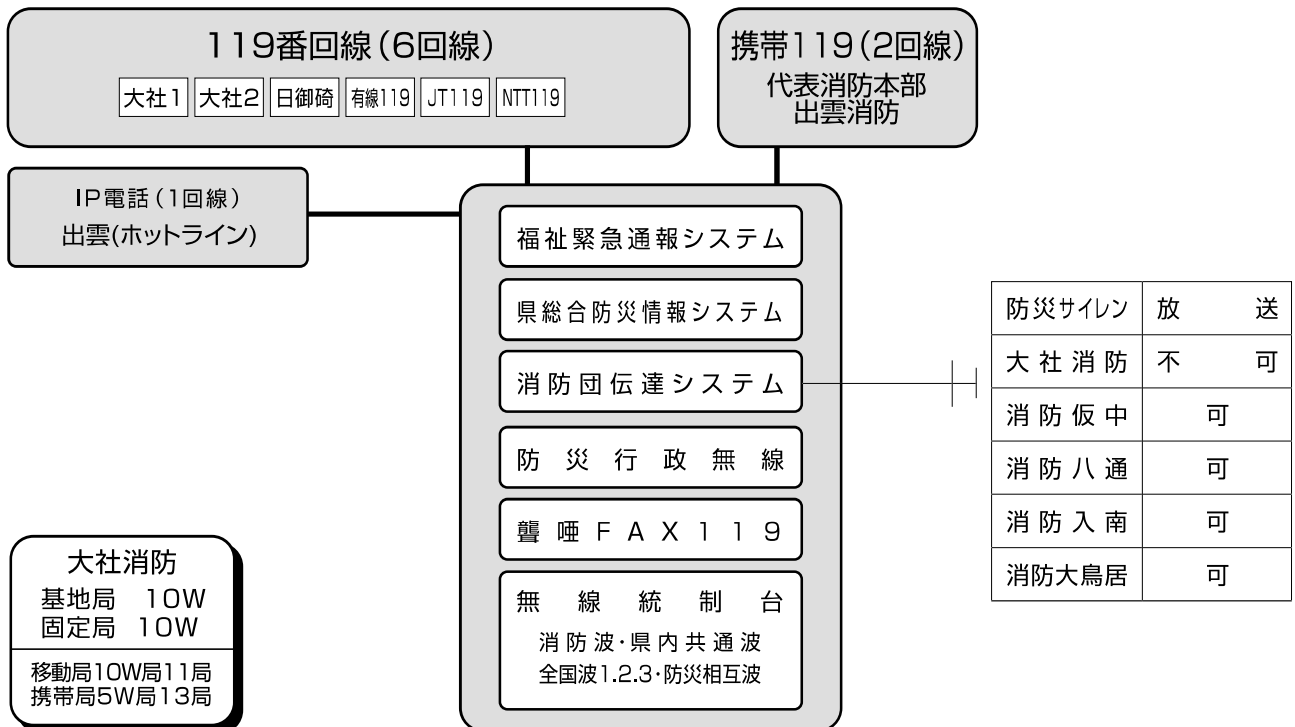
しょうぼうさだ (黒山中継局)	
基地局	10W
固定局	10W
多重無線	0.004W

●消防通信施設状況 出雲局 (0853)

【平田消防署】



【大社消防署】



●火災報知専用電話（119番）着信状況 【出雲市消防本部】

平成17年(2005)中

月別	着信種別	火災通報	救急通報	その他の災害通報	訓練通報	火災・救急問い合わせ	いたすら	医療機関問い合わせ	誤ってかけた	届出	苦情・相談・	その他応答無し	試験	計
1月		1	234	1	28	5	6	6	10	18	21			330
2月		5	220	4	76	5	7	7	13	12	15			364
3月		2	262	2	84	5	3	2	17	15	15	32		439
4月		6	210	2	46	10	5	1	23	11	22	77		413
5月		14	184	1	41	4	6	3	24	7	18	61		363
6月		10	170	4	43	3	2	3	20	16	28	8		307
7月		1	222	8	54	6	10	1	26	12	18	8		366
8月		2	201		35	3	8	3	36	25	12	13		338
9月		2	199		80	5	6	3	19	11	27	32		384
10月		7	226	1	54	1	2	2	14	6	22	10		345
11月		5	218	1	82	5	3		17	11	13	13		368
12月		1	232	4	55	3	1	2	30	14	20	15		377
計		56	2,578	28	678	55	59	33	249	158	231	269		4,394

●携帯電話(119番)着信状況 【出雲市消防本部】

平成17年(2005)中

月別	着信種別	火災通報	救急通報	その他の災害通報	訓練通報	火災・救急問い合わせ	いたすら	医療機関問い合わせ	誤ってかけた	届出	苦情・相談・	その他応答無し	試験	途中で切れた	計
1月		9	103	1	1	3	3	3	14	8	14	36			195
2月		8	110	1	3	3	2	3	13	9	12	34	1		199
3月		7	105	1	2	3	3	5	15	14	12	54			221
4月		8	119	1	7	1		3	20	8	31	30	2		230
5月		18	127	1	4	3		2	10	2	14	33	3		217
6月		13	106	10	4	7	1	1	15	12	17	38	1		225
7月		2	138	4	9	1	1	4	13	13	22	33			240
8月		6	138	8	3	1	2	10	13	11	31	38	1		262
9月		5	124	2	3	5	1	1	2	10	34	36	3		226
10月		5	131	1	7	6	11	1	8	12	51	36	9		278
11月		4	84	6	4	3	2	3	8	7	9	99	1		230
12月		3	92	1	4		1	1	8	3	3	1	2		119
計		88	1,377	37	51	36	27	37	139	109	250	468	23		2,642

●消防テレホンガイド利用状況（0853-23-0119）【出雲市消防本部】

○火災や、各種災害の情報を住民の皆様にご提供するため、専用電話による消防テレホンガイド装置を運用しており、その利用状況は次のとおりです。

平成17年(2005)中

月別 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
回数	5,023	6,558	5,354	7,624	9,207	11,514	4,288	5,229	5,248	5,800	8,259	5,796	79,900

●119番受信時の口頭指導実施状況【出雲市消防本部】

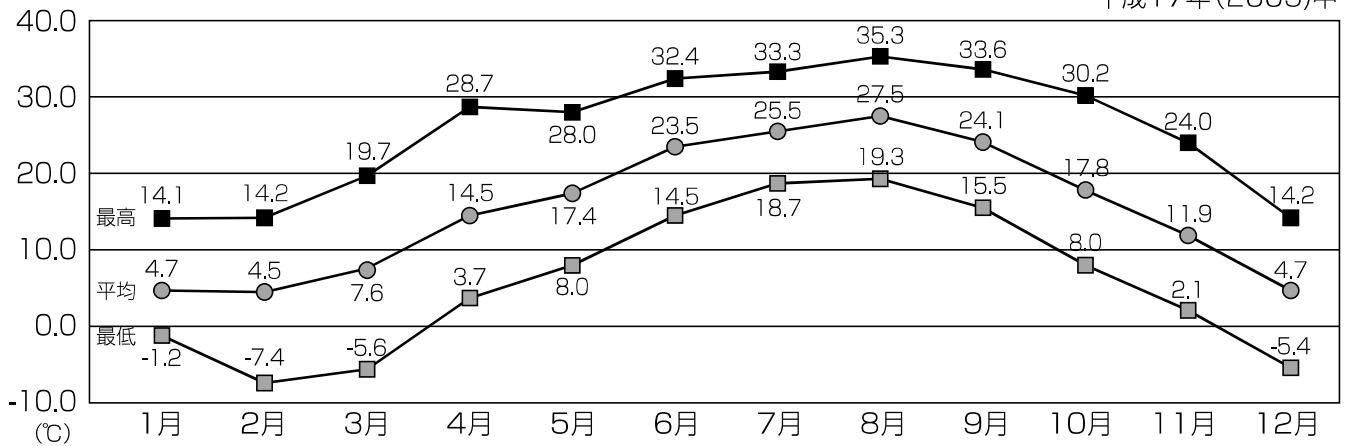
平成17年(2005)中

指導内容	事故種別	合計	急病	交通事故	一般負傷	その他
止	血	95	4	12	60	19
固	定	3		1	1	1
人工呼吸		6	5		1	
心臓マッサージ		10	6		3	1
心肺蘇生		81	60	1	10	10
気道確保		69	64		4	1
保温		4	3			1
被覆		1			1	
異物除去		17	5		12	
切断指冷却		2				2
冷却		4	1		2	1
体位		74	59	1	5	9
その他		22	11	3	7	1
合計		388	218	18	106	46

気象状況

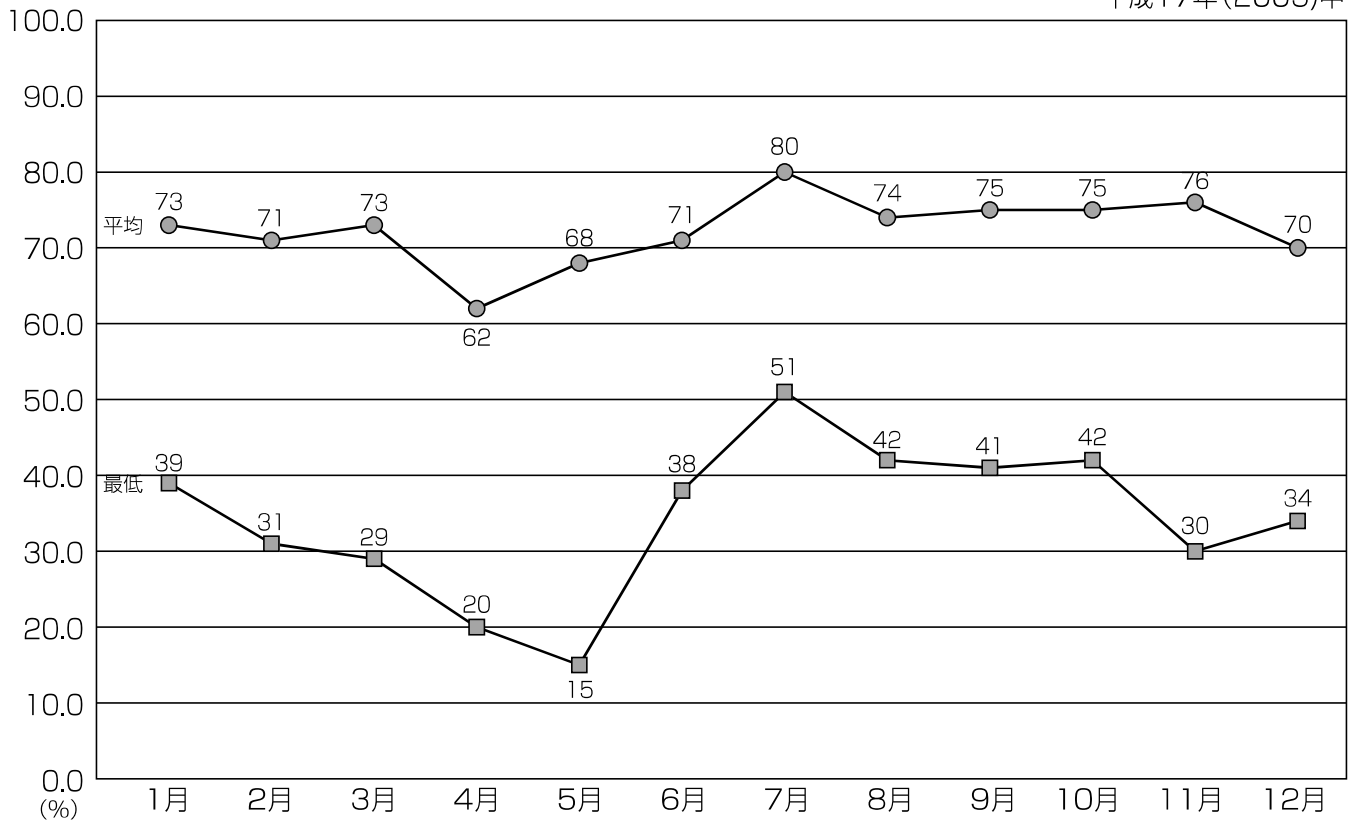
●気 温(°C)【出雲市消防本部】

平成17年(2005)中



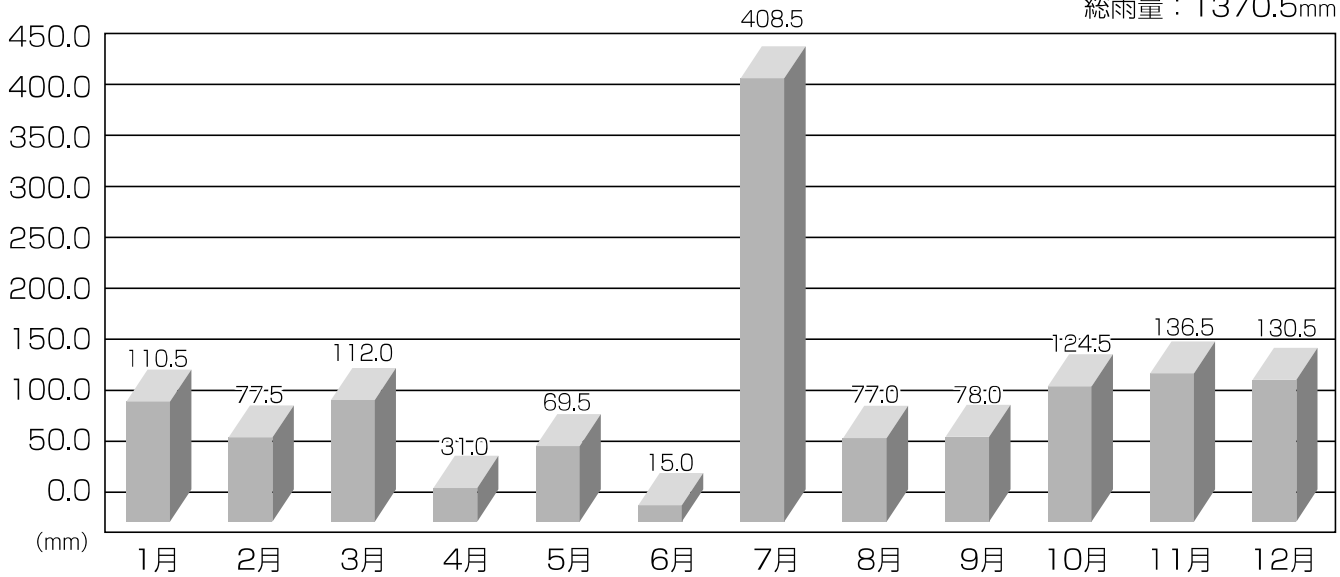
●湿 度(%)【出雲市消防本部】

平成17年(2005)中



●降雨量(mm)【出雲市消防本部】

平成17年(2005)中
総雨量：1370.5mm



●風向・風速【出雲市消防本部】

平成17年(2005)中

区分	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	全年
最多風向		北東	北東	西北西	西北西	東	西	東北東	東	東	東	東	西北西	東
平均風速		3.3	3.3	3.4	4.0	2.9	3.3	3.2	2.5	3.2	2.3	1.9	3.1	3.0
最大風速		24.6	31.5	26.1	24.1	26.6	19.7	21.5	16.2	14.8	9.7	9.7	10.7	31.5
風速10mを超えた日		25	23	25	26	25	18	20	21	19	18	17	27	264

●気象警報等発令状況【出雲市消防本部】

平成17年(2005)中

区分	月別	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火災気象通報		17	2			11							1	3
警報	暴風	1									1			
	波浪	6	1								1		1	3
	大雨	3							1	1	1			
	大雪	2												2
	洪水	3							1	1	1			
計		32	3	0	0	11	0	0	2	2	4	0	2	8

※警報等の解除については回数に含まない。



○署員による水難救助訓練



○ライフセイバーとの合同水難救助訓練



○職場体験学習

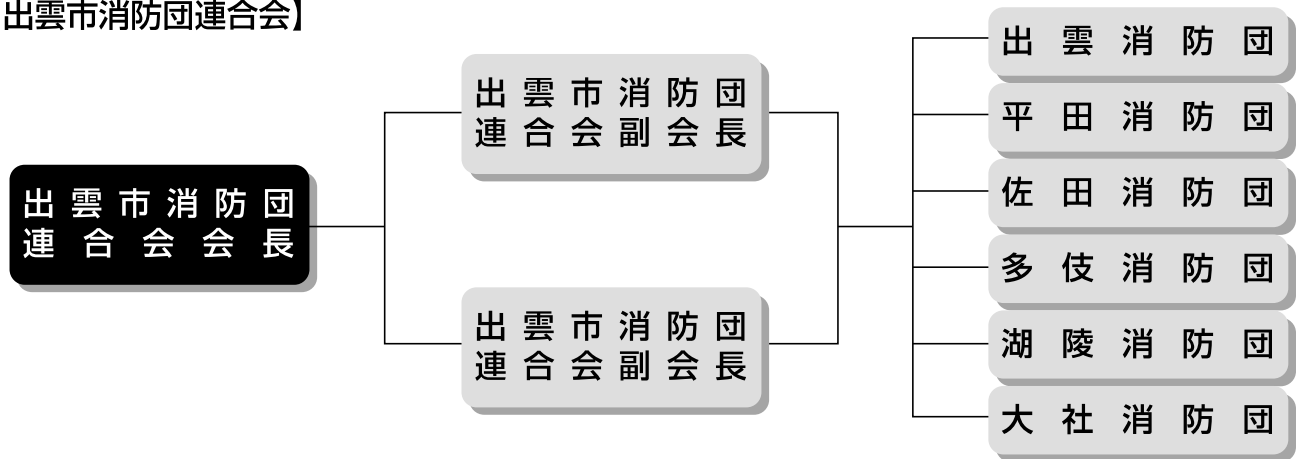


消防团

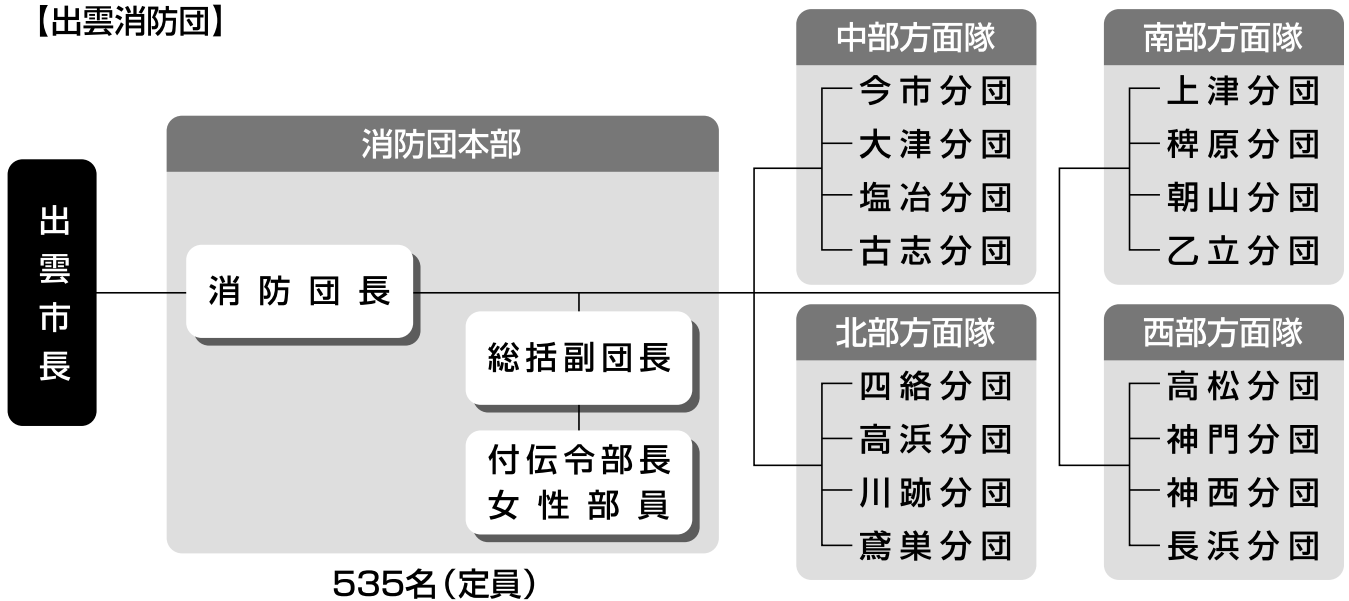
出雲市消防団連合会の組織

●組織図

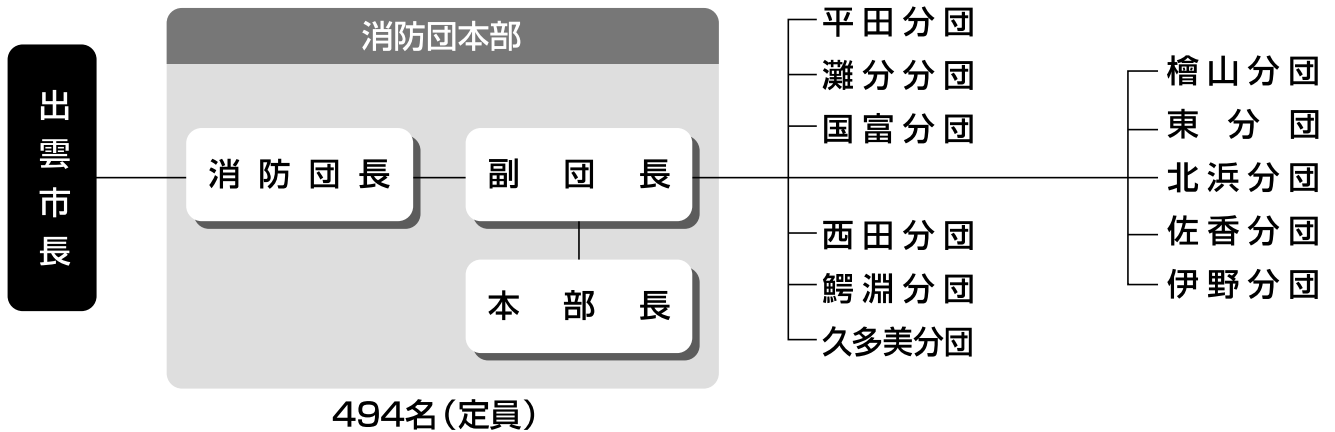
【出雲市消防団連合会】



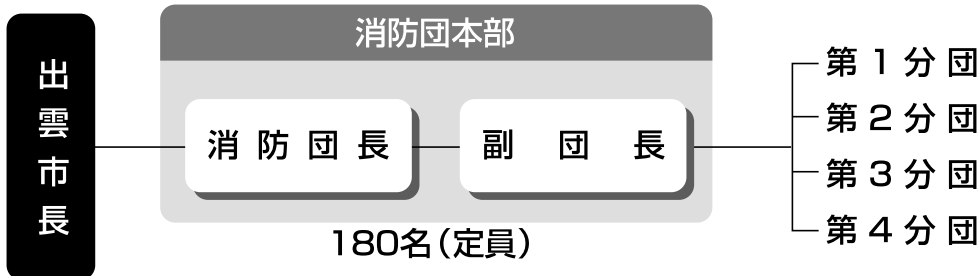
【出雲消防団】



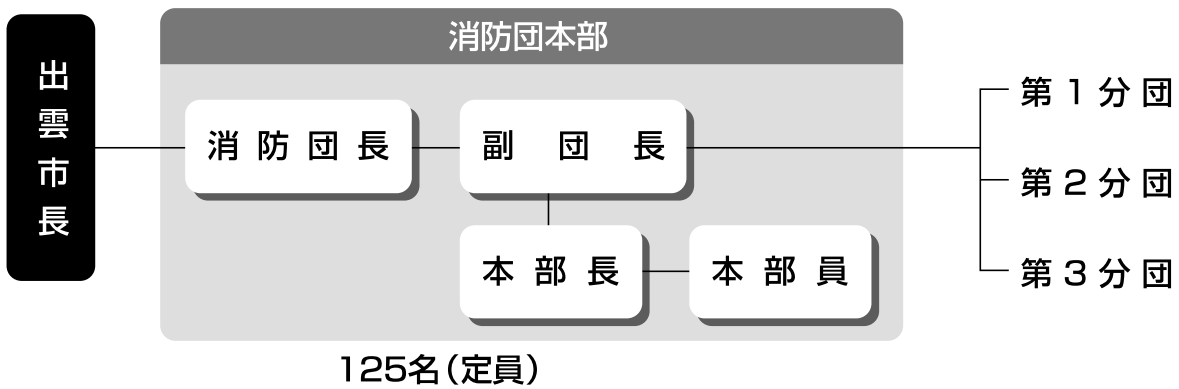
【平田消防団】



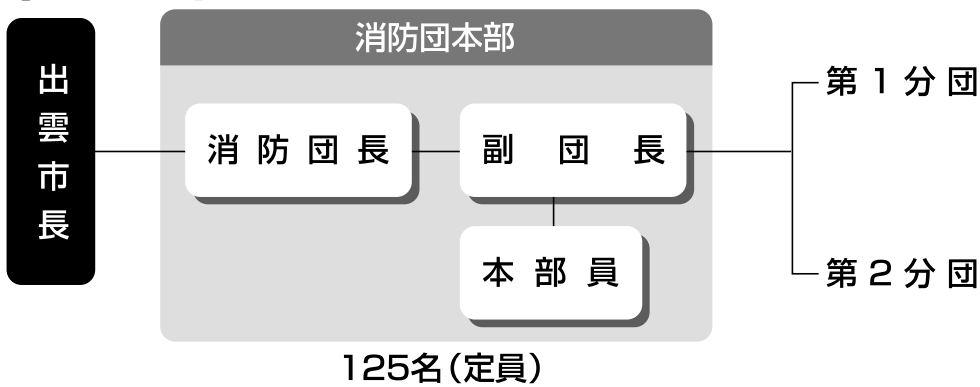
【佐田消防団】



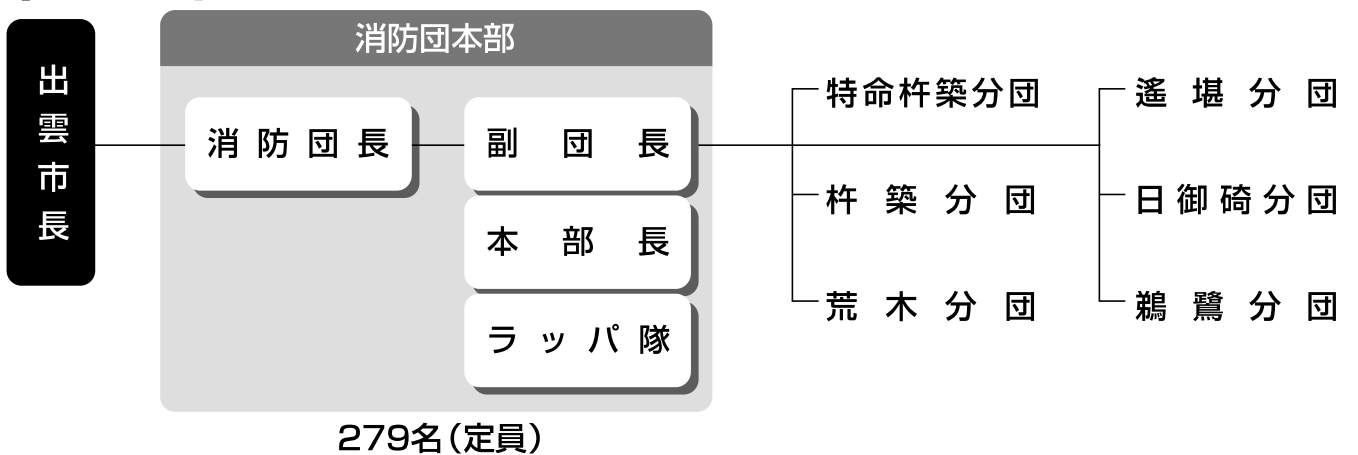
【多伎消防団】



【湖陵消防団】



【大社消防団】



●階級別人員数

(単位:人)

階級 團別	階級							
	計	團長	副團長	分團長	副分團長	部長	副部長 班長	團員
計	1,707	6	18	47	63	124	187	1,261
出雲	535	1	5	16	16	39	59	399
平田	483	1	4	12	22	43	44	357
佐田	173	1	2	4	8	13	13	132
多伎	119	1	2	4	3	10	10	89
湖陵	118	1	2	2	2	6	17	88
大社	279	1	3	9	12	13	45	196

※分團長のうち、平田・多伎は各1名、大社は3名が本部長

●報酬(年額)

(単位:円)

階級	報酬(年額)						
	團長	副團長	分團長	副分團長	部長	副部長 班長	團員
出雲市	70,000	50,000	38,000	29,000	25,000	22,000	17,500

●諸手当

(単位:円)

区分	出場手当(1回あたり)		機関員手当(年額)		
	災害出場	訓練出場	消防ポンプ自動車	小型ポンプ自動車	小型ポンプ
出雲市	3,700	3,700	11,500	11,500	11,500

●団員の年齢

(単位:人)

年 齢 \ 団 別	合 計	出 雲	平 田	佐 田	多 伎	湖 陵	大 社
合 計	1,707	535	483	173	119	118	279
18 才 ~ 20 才	3	1	1			1	
21 才 ~ 25 才	69	14	36	6	5	1	7
26 才 ~ 30 才	272	73	107	24	13	26	29
31 才 ~ 35 才	439	146	158	30	13	34	58
36 才 ~ 40 才	408	150	124	28	15	19	72
41 才 ~ 45 才	284	104	44	44	18	23	51
46 才 ~ 50 才	121	34	7	23	23	7	27
51 才 ~ 55 才	61	8	6	12	18	4	13
56 才 以 上	50	5		6	14	3	22
平 均 年 齢	38	37	34	40	43	37	40

●団員の在職年数

(単位:人)

年 数 \ 団 別	合 計	出 雲	平 田	佐 田	多 伎	湖 陵	大 社
合 計	1,707	535	483	173	119	118	279
5 年 未 満	716	277	251	50	26	38	74
5 年 以 上 10 年 未 満	417	129	148	27	13	37	63
10 年 以 上 15 年 未 満	294	79	65	44	26	24	56
15 年 以 上 20 年 未 満	135	28	15	20	23	9	40
20 年 以 上 25 年 未 満	86	18	3	15	18	6	26
25 年 以 上 30 年 未 満	29	1	1	10	4	1	12
30 年 以 上	30	3		7	9	3	8

●消防ポンプ・消防用車両の現況

(単位:台)

区 分 \ 団 別	合 計	出 雲	平 田	佐 田	多 伎	湖 陵	大 社
合 計	158	56	47	14	9	10	22
消 防 ポンプ自動車	2	2					
小 型 動 力 ポンプ	40	18	22				
小 型 動 力 ポンプ積載車	112	35	23	13	9	10	22
そ の 他 の 車 両	4	1	2	1			

●団員の職業別

(単位:人)

職業	階 級	団 長	副団長	本部長	分団長	副分団長	部 長	副部長 班 長	団 員	合 計
		農 業	3	4	1	5	2	3	6	29
漁 業	0	0	0	0	4	1	2	13	20	
鉱 業	0	0	0	0	0	2	0	3	5	
建 設 業	1	5	2	9	22	32	52	295	418	
製 造 業	1	0	0	5	11	25	32	291	365	
電 気 ・ ガ ス 熱 供 給 ・ 水 道 業	0	1	0	0	1	4	4	50	60	
運 輸 業	0	0	1	1	1	8	7	45	63	
卸 売 ・ 小 売 業	0	2	0	10	6	16	18	117	169	
複 合 サービス 事 業	0	3	1	1	0	2	9	38	54	
サ ー ビ ス 業	1	2	0	10	9	17	38	211	288	
公 務	0	0	0	1	4	10	15	96	126	
そ の 他	0	1	0	0	3	4	5	73	86	
合 計	6	18	5	42	63	124	188	1,261	1,707	

●組織図

【斐川町消防団】



255名(定員)

●階級別人員数

(単位:人)

階級	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	副部長 班長	団員
斐川町	255	1	2	4	8	24	48	168

●報酬(年額)

(単位:円)

階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	副部長 班長	団員
斐川町	65,000	50,000	36,000	30,000	25,000	23,000	21,000

●諸手当

(単位:円)

区分	出場手当(1回あたり)		機関員手当(年額)		
	災害出場	訓練出場	消防ポンプ 自動車	小型ポンプ 積載車	小型ポンプ
斐川町	3,000	3,000	15,000	15,000	なし

●団員の年齢

(単位:人)

年齢	斐川町
合計	255
18才～20才	
21才～25才	10
26才～30才	32
31才～35才	78
36才～40才	75
41才～45才	41
46才～50才	12
51才～55才	4
56才以上	3
平均年齢	

●団員の在職年数

(単位:人)

年数	斐川町
合計	255
5年未満	175
5年以上10年未満	47
10年以上15年未満	21
15年以上20年未満	5
20年以上25年未満	4
25年以上30年未満	1
30年以上	2

●消防ポンプ・消防用車両の現況 (単位:台)

区分	斐川町
合計	25
消防ポンプ自動車	2
小型動力ポンプ	0
小型動力ポンプ積載車	22
その他の車両	1

●団員の職業別

(単位:人)

職業	階級	団長	副団長	本部長	分団長	副分団長	部長	副部長	団員	合計
農業						1		2	4	7
漁業									1	1
鉱業										0
建設業			1		2	2	5	8	27	45
製造業						1	8	9	47	65
電気・ガス 熱供給・水道業					1		2	1	7	11
運輸業								5	5	10
卸売・小売業		1				2		5	13	21
複合サービス業							1	5	10	16
サービス業					1	2	5	9	22	39
公務							3	2	25	30
その他			1					2	7	10
合計		1	2	0	4	8	24	48	168	255



水難
救済会

島根県水難救済会 救難所の現況

【平田救難所】

(1) 救難所員の定数及び実員

(単位:人)

階 級	区 分	平田救難所 (北浜)	佐香支所	合 計
所 長		1		1
副 所 長		3		3
支 所 長			1	1
救 助 長		2	3	5
部 長		3	3	6
班 長		2	3	5
救 助 員		13	16	29
合 計		24	26	50

(注) ・ 所長は消防署長兼務
・ 副所長は消防署副署長、管理室長兼務

(2) 救難所器具保有状況

種 別	平田救難所 (北浜)	佐香支所	合 計
救命索発射器	2	1	3
救命浮環	14	2	16
救命胴衣	55		55
保安帽	15	15	30
携帯用拡声器	1		1
ロ ー プ	2	1	3
トランシーバー	8		8
双 眼 鏡	5	1	6
旗	3		3
ウェットスーツ	8		8

(3) 3ヶ年の災害等出場状況

区分等	年 別	H15年	H16年	H17年
訓 練	件 数	1	1	1
	出動人員	47	47	47
水難救助	件 数	3	1	0
	出動人員	13	1	0
合 計	件 数	4	2	1
	出動人員	60	48	47

(4)救難所員勤続年数

(単位:人)

階級 年数	所長	副所長	支所長	救助長	部長	班長	救助員	合計
5年未満		2	1	2	6	3	26	40
5年～9年				2		2	1	5
10年～14年								0
15年～19年							1	1
20年～24年				1			1	2
25年～29年	1							1
30年～34年								0
35年～39年								0
40年以上		1						1
合計	1	3	1	5	6	5	29	50

(5)救難所員年齢調

(単位:人)

階級 年数	所長	副所長	支所長	救助長	部長	班長	救助員	合計
20才未満								0
20才～24才								0
25才～29才								0
30才～34才							2	2
35才～39才							3	3
40才～44才							1	1
45才～49才							2	2
50才～54才		2			1		3	6
55才～59才	1			2	1	1	6	11
60才以上		1	1	3	4	4	12	25
平均年齢	58.4							
合計	1	3	1	5	6	5	29	50

【大社救難所】

(1)救難所員の定数及び実員

(単位:人)

階 級 \ 区 分	大社救難所	日御碕支所	鵜鷺支所	合 計
所 長	1			1
副 所 長	2			2
支 所 長		1	1	2
救 助 長	2	2	2	6
部 長	3	3	3	9
班 長	3	7	6	16
救 助 員	8	40	24	72
合 計	19	53	36	108

(注) ・ 所長は消防署長兼務
 ・ 副所長は消防署副署長兼務



災害現場に於ける救出状況



(2)救難所器具保有状況

種 別	大社救難所	日御碕支所	鵜鷺支所	合 計
救命索発射器	5			5
救命浮環	23	2	8	33
救命胴衣	21	63	42	126
保安帽	17	53	36	106
救助用担架	2	1		3
携帯用拡声器	5	1	1	7
KPロープ(不沈)	1	1	1	3
ロープ	4	5	5	14
洋上救急バック	3			3
ゴムボート(7人、8人乗り)	2			2
ウェットスーツ	7			7
携帯用発電機	4			4
ヘッドランプ	10			10
水中ライト	1			1
強力ライト	1			1
ブリチェスバイ	1			1
地引網	1			1
磯足長靴	6			6
双眼鏡	4			4
オイルフェンス	一式(70m)			一式(70m)
毛布	1	4	1	6
救助用縛帯	4			4
レサシアン(成人)	3			3
排水ポンプ		1	2	3
トビ		4		4

(3)3ヶ年の災害等出動状況

区分等	年 別	H15年	H16年	H17年
訓 練	件 数	3	1	1
	出動人員	90	84	109
水難救助	件 数	0	1	6
	出動人員	0	5	60
合 計	件 数	3	2	7
	出動人員	90	89	169

(4)救難所員勤続年数

(単位:人)

階級 年数	所長	副所長	支所長	救助長	部長	班長	救助員	合計
5年未満		1				2	29	32
5年～9年						3	14	17
10年～14年					2	5	3	10
15年～19年			1	1		2	6	10
20年～24年				2	5	2	7	16
25年～29年	1			1	2	2	4	10
30年～34年			1	1			6	8
35年～39年		1		1			1	3
40年以上							2	2
合計	1	2	2	6	9	16	72	108

(5)救難所員年齢調

(単位:人)

階級 年齢	所長	副所長	支所長	救助長	部長	班長	救助員	合計
20才未満								
20才～24才								
25才～29才							4	4
30才～34才							9	9
35才～39才					1	3	15	19
40才～44才						3	6	9
45才～49才				2	1	3	3	9
50才～54才				1	5	1	2	9
55才～59才	1	2	2	2	2	4	15	28
60才以上				1		2	18	21
平均年齢	49.1							
合計	1	2	2	6	9	16	72	108

【多伎救難所】

所 長	0人	副 所 長	0人	救 助 長	1人	所 員	44人
-----	----	-------	----	-------	----	-----	-----

資器材保有状況

救 命 胴 衣	17着	キャップライト	5個	懐 中 電 灯	10個
携 帯 用 拡 声 器	1個	双 眼 鏡	1個	トランシーバー	2個
救 命 浮 輪	10個	救 助 用 ロ ー プ	3個		

活動状況

- ・救命講習会の開催

